



# つゞじヶ丘だより東京

## つゞじヶ丘同窓会東京支部会報



発行 函館西高等学校つゞじヶ丘同窓会東京支部 会長 新谷 義克  
 〒136-0072 東京都江東区大島 8-41-15-215 TEL&FAX 03-5609-9881  
 メールアドレス <jimu@td-tokyo.com>  
 印刷所 株式会社 サンビプロダクトセンター 題字 細見 紀子(14 回生)

### <第 15 回総会 記念特集号>

#### 第 15 回総会を迎えて

つゞじヶ丘同窓会東京支部

会長 新谷義克



会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。私達東京支部も皆様方のご支援とご協力のおかげで今回第 15 回総会を迎えることができました。東京支部事務局は、ご存知のようにスタッフも揃い、ホームページの立ち上げ等充実してきました。これからの同窓会活動も大いに期待できると思います。

かえりみまずと、私が会長を引き受けしてから約 30 年経ちました。昭和 59 年高女 30 回生の中川巴様や、西高 3 回生の亀谷彰夫君方のご努力が実り、高女と西高の両同窓会が合併し、昭和 60 年第一回総会が恵比寿のビアステーションで行われました。参加者は 316 名でその後第 3 回は 364 名、第 6 回は 374 名で、第 10 回頃までは毎回 3 百名を越え、大変盛大でしたが、最近 2 百数十名と少なくなってきました。これは会員の皆様の高齢化や、母

校後輩の上京者数の減少等があります。これからは、皆様には今まで以上に同窓の方々に声をかけ、共に参加していただきたいと思えます。



椿山荘全景(ホームページより)

総会の会場も前回より目白の椿山荘で行なわれるようになり、大変評判も良いようです。また、前回は高女卒の方が約 40 名近く(全員 80 歳以上)出席されましたが、皆様心身ともに優れている証しであり、さすが高女の先輩と感心いたしました。

最後になりますが、最近事務局のスタッフが充実してきたことや、私自身の年齢や諸事情もあり、今回第 15 回総会を機会に会長を辞任し、新しいスタッフにバトンタッチすることにしました。

改めて、長い間私を支えていただいた会員の皆様方に心より御礼を申し上げます。これからも一会員と

して、皆様方と変わらぬお付き合いをさせていただきたいと思っております。長い間ご支援ありがとうございました。



☆ ☆ ☆

#### 次期会長ご挨拶

佐々木太郎(14 回生)

新谷会長の後を受けて、2 月の学年幹事会で選出されました。この総会・懇親会後に東京支部の会長に就任する予定です。

高女と西高の同窓会が合併して、第 15 回になるこの記念総会を一つの区切りとして、世代交代を進めようということですが、新谷会長が 30 年近く会長をおやりになり、東京支部の基盤をしっかりと作られました。その後を汚さないように、新しい役員、学年幹事、事務局のメンバーと協力しながら同窓会の発展に尽力してまいります。

皆さんのご支援を心からお願ひ申し上げます。

第15回 つゝじヶ丘同窓会東京支部総会・懇親会次第

開催日 平成25年5月18日(土曜日)

時間 13時00分 ~ 16時00分

場所 椿山荘 5F オリオン

司会 佐藤 雅英(18回生)

—総会—

・開会宣言

・物故者黙禱

・報告

副会長 郷内 繁

副会長 成田 慶子

幹事長 若林 英毅

—懇親会—

・会長挨拶

・来賓紹介

・来賓挨拶

・乾杯

会長 新谷 義克

つゝじヶ丘同窓会本部

副会長 藤井 方雄 様

函館西高等学校

校長 安房 節雄 様

<歓談>

・アトラクション

ブルーマウンテンボーイズ

演奏: 外岡 勝彦(12回生)他

特別演奏: 安房 節雄校長

・次期役員紹介・挨拶

次期会長 佐々木 太郎(14回生)

・功労者記念品贈呈

会長・副会長

・函館港踊り

有志

・校歌斉唱(高女・西高)

歌唱指導:伊藤 欣子(2回生)

・応援歌

東京支部応援団有志

・閉会挨拶

次期幹事長 竹澤 秀明(17回生)

北海道庁立函館高等女学校校歌

一、巴の港朝夕に

出で入る船の帆柱の  
しげき学のかずかずは  
世の海渡るみおつくし  
教のまにまに艱苦にたえて  
真心厚き女子(おみな)とならん

二、春は湯の川リリーつみ

秋は大沼舟遊び  
冬は四方山白雪の  
玉もてかざる銀世界  
自然の靈気を我身にうけて  
清き操の女子(おみな)とならん



北海道函館西高等学校校歌

一、春は弥生の草萌えて

つづじヶ丘に花咲けば  
流るる空の雲は淡し  
向学の友群れてここに  
集えり ああ君 われら若く  
自由の鐘の音 窓に鳴れば  
情操をたもちて 共に立てよ

二、北の港の丘のもと

巴の海に新潮の  
岬をめぐる声はひびく  
向学の友群れてここに  
集えり ああ君 われら若く  
希望は生まれて 胸にみてば  
大志をいだきて 共に立てよ

三、秋は臥牛の松の風

栄枯の夢を歌えども  
北斗の影は天にかかる  
向学の友群れてここに  
集えり ああ君 われら若く  
ひとみは冴えたり いよいよ深く  
真理を求めて 共に立てよ

北海道函館西高等学校校応援歌 No. 2

一、臥牛山麓 風荒く

怒濤逆巻き 狂うとも  
たゆまぬ健児が 血と汗の  
日頃の力を示すは今  
おお おお 我等が選手  
我等が選手 今ぞいけ

二、つづじヶ丘の西高に

試練重ねし 幾星霜  
母校の名誉は 双肩にあり  
勝利は常に 我にあり  
おお おお 我等が選手  
我等が選手 今ぞいけ



## 第15回総会・懇親会 出席者名簿

平成25年5月7日 現在

## 《ご来賓》

					テーブルNO
函館西高等学校		校 長	安 房 節 雄 様		4
つゝじヶ丘同窓会	本 部	副 会 長	藤 井 方 雄 様		4
	関西支部	会 長	富 士 昭 一 様		4
白楊ヶ丘同窓会	札幌支部	事 務 局 長	菩 提 寺 孝 幸 様		4
	東京支部	支 部 長	安 田 康 次 様		3
関東青雲同窓会		副 支 部 長	白 川 正 広 様		3
		会 長	新 山 春 一 様		3
東京函商同窓会		副 会 長	中 川 和 彦 様		3
		会 長	汐 谷 進 様		3
函工同窓会		幹 事 長	道 下 佳 拓 様		3
	関東支部	事 務 局 長	本 間 和 吉 様		3
函館ラ・サール		副 支 部 長	大 水 和 彦 様		3
	東京同窓会	特 任 委 員 監 査 役	古 那 旗 達 夫 様 那 須 良 明 様		3 3

NO	卒年	回生	組	氏 名	旧姓	出身中学	所属部活	テーブルNO
1	14	31		佐々木 静子	藤 村	幸小		6
2	15	32		照井 陽子	渡 辺			6
3	16	33		宮島 ひろ子	芦 野			6
4	16	33		石畑 きね子				6
5	20	37		鳥本 玲子	新 谷		ハンド	6
6	20	37		染木 トシ	高 橋			6
7	20	37		堀井 禮子	斉 藤			6
8	20	37		多和田 誠子	山 田			6
9	20	37		田 慎 諒子	玉 手			6
10	21	38		小西 弥生	藤 倉	中島小	スキー	4
11	23	40		橋本 容子				6
12	24	41		相馬 洋子	今 井			5
13	24	41		金子 綾子	森			5
14	25	女2		中村 トク子	川 口		演劇	4
15	25	女2		成田 慶子		幸小	体操	4
16	25	女2		吉元 芳子	宮 崎		登山	5
17	25	女2		小泉 万里子	平 野			5
18	25	女2		金丸 美佐子		弥生小		5
19	25	女2		海老沢 暁子	山 本			5
20	25	女2		上原 佑子	中 野			5
21	25	女2		高木 清子	服 部			5
22	25	女2		相馬 佳代	廣 瀬			5
23	26	1		新谷 義克		市立	ラグビー	4
24	26	1		茂木 誠子	広 部			4
25	27	2	1	賀川 勢津子	石 山			1
26	27	2	2	桜庭 良作		函中	バレー	1
27	27	2	2	廣瀬 和也		函中		1
28	27	2	3	納代 鉄也		函館	野球・演劇	1
29	27	2	6	松田 守正		函中		1
30	27	2	7	伊藤 欣子	買 手	常盤	音楽・体操	1
31	28	3	1	加藤 東郎		旭	スキー	2
32	28	3	1	山村 勉		旭		2
33	28	3	1	橋本 力		船見	野球	2
34	28	3	3	長澤 清司		旭	山岳	2
35	28	3	4	布川 セン子	竹 石	船見	体操	2
36	28	3	7	高橋 幸夫		船見	サッカー	2
37	28	3	7	徳田 安正		旭	山岳	2
38	28	3	8	中野 陽子		潮見	テニス	2
39	29	4	1	阿部 英一		谷地頭	新聞	8
40	29	4	3	宮崎 繁		谷地頭	野球	2
41	29	4	6	木寺 章		谷地頭	美術	2
42	29	4	7	郷内 繁		上磯		4
43	30	5	1	藤代 カヨ子	古 川	旭		7
44	30	5	1	藤野 幸子	本 間	旭		7

途中キャンセル者

## 第 15 回総会・懇親会 出席者名簿

NO	卒年	回生	組	氏名	旧姓	出身中学	所属部活	テーブルNO
45	30	5	3	小野寺 忠之		愛宕	卓球	7
46	30	5	3	関谷 幸子	吉田	上磯		7
47	30	5	3	八木 浩子	東郷	遺愛・旭		7
48	30	5	4	峰岸 四四子	大崎	谷地頭	バレー	7
49	30	5	4	塚本 睦子				7
50	30	5	6	長澤 慎二		旭	化学	7
51	30	5	6	篠原 洋子		的場		7
52	30	5	6	黒澤 弘子	小野			7
53	30	5	6	粕谷 陽子	久保	上磯		1
54	30	5	7	臼井 佳代	津山	旭		1
55	30	5	7	佐藤 光子	小川原			1
56	31	6	2	笠川 雅彦		旭	山岳	8
57	31	6	3	鈴木 靖		旭	柔道	8
58	31	6	4	塚本 善夫		谷地頭	スキー	8
59	31	6	6	東郷 豊		旭	柔道	8
60	31	6	7	小笠寺 直巳		浜分		8
61	32	7	5	恩田 美智子	玉利	旭		10
62	33	8	3	田中 正身		谷地頭	卓球	8
63	34	9	1	本田 啓	増田	愛宕		8
64	34	9	2	徳田 紀美子	大坂	潮見	体操ダンス	8
65	34	9	4	中村 紀之		浜分		8
66	35	10	5	加野 治		旭		9
67	35	10	6	福井 達郎		旭	テニス	9
68	35	10	6	澤田 修子	榎本	石別	音楽	9
69	35	10	6	住谷 陽子		潮見		9
70	35	10	7	小嶋 俊昭		旭	バレー	9
71	35	10	7	桜川 薫子	中島	旭	テニス	9
72	35	10	8	徳永 豊吉		潮見		9
73	35	10	8	松本 信男		潮見	放送	9
74	35	10	8	竹岡 亮三		付属	山岳	9
75	35	10	8	村田 千佐子	深谷	江差		9
76	36	11	1	齊藤 宏		潮見	野球	10
77	36	11	2	永野 陽子	上田	潮見	陸上	10
78	36	11	2	植木 清明		愛宕	写真	10
79	36	11	2	岩尾 紘一		潮見	物理	10
80	36	11	6	若林 英毅		船見	バレー	10
81	36	11	7	長谷川 大剛		潮見	バレー	10
82	36	11	7	神田 敢司		上磯		10
83	36	11	8	新井 眞沙子	伊賀	愛宕		10
84	36	11	8	石橋 洋嗣		付属	吹奏楽・茶道	10
85	37	12	1	高木 清晴		上磯	ボート	15
86	37	12	2	外岡 勝彦		付属	美術	15
87	37	12	3	小川 正典		潮見	放送	15
88	37	12	4	伊藤 誼		潮見		15
89	37	12	4	鈴木 隆昌		愛宕	バレー	15
90	37	12	4	三好 美智子		潮見	演劇	15
91	37	12	7	井上 豊		上磯	文芸	15
92	37	12	8	最上 龍一		潮見	化学	15
93	37	12	9	時田 敦子		旭	体育	15
94	38	13	1	木村 禧夫		旭		11
95	38	13	2	根本 弘子	工藤	旭		11
96	38	13	2	金谷 忠勝		上磯		11
97	38	13	3	高野 教子	田中	中央		11
98	38	13	3	森 加代子	渡辺	旭		11
99	38	13	3	堀口 六壽		潮見		11
100	38	13	3	木谷 勝子	高田	愛宕		11
101	38	13	3	佐藤 芙紗子	金丸	愛宕	ヨット	11
102	38	13	4	広田 悦子	近藤	船見		11
103	38	13	4	三村 寿雄		船見		11
104	38	13	4	五十嵐 直隆		潮見	吹奏楽	12

## 第15回総会・懇親会 出席者名簿

NO	卒年	回生	組	氏名	旧姓	出身中学	所属部活	テーブルNO
105	38	13	5	岡部幸昭		潮見	生物	12
106	38	13	6	坂本幹男		愛宕		12
107	38	13	6	炭田美規子	成田	船見		12
108	38	13	6	小玉正義		愛宕	化学	12
109	38	13	7	斉藤勝美		旭	ラグビー	24
110	38	13	8	伊藤昭夫		潮見	吹奏楽	12
111	38	13	8	森越勝		愛宕	吹奏楽	12
112	38	13	9	花木瞳	斉藤	上磯		12
113	38	13	9	中山悦子	大賀	湯の川		12
114	38	13	9	白石一恵	金子	愛宕	山岳	12
115	39	14	1	山崎陽子	川原田	旭	バトミントン	18
116	39	14	1	滝一郎		旭	写真	18
117	39	14	2	佐々木太郎		付属	数研	18
118	39	14	2	村本茂子	金沢	潮見		18
119	39	14	2	天野美秋	大森	潮見		18
120	39	14	3	堀内洋子	石田	旭		24
121	39	14	3	加藤秀勝		愛宕	柔道	18
122	39	14	3	竹森利則		上磯	バスケット	18
123	39	14	4	稲田一郎		愛宕	放送	18
124	39	14	4	若林郁雄		船見	写真	24
125	39	14	4	洞田雅子		潮見	写真	18
126	39	14	4	二本柳常利		潮見	テニス	17
127	39	14	5	常田登志子	望月	付属		17
128	39	14	5	道下邦雄		愛宕	テニス	17
129	39	14	5	田端冴子	藤田	潮見	放送	17
130	39	14	6	小坂俊昭		旭		17
131	39	14	7	原田吉隆		船見	吹奏楽	17
132	39	14	8	細見紀子	小山内	旭	放送	17
133	39	14	8	中村宏子	安原	旭	音楽部	17
134	39	14	8	辰村新平		潮見	サッカー	17
135	39	14	8	田代光俊		旭		17
136	40	15	1	佐藤一男		潮見	音楽	16
137	40	15	3	黒河道夫		愛宕		16
138	40	15	5	木村隆夫		旭		16
139	40	15	7	酒田幸男		旭		16
140	41	16	3	猪しまこ	佐々木	愛宕		24
141	41	16	5	滝口清		潮見	数研	24
142	42	17	1	山崎雅司		潮見	人文地理	16
143	42	17	1	大西裕子	加島	愛宕	ヨット	16
144	42	17	2	斎藤光子	長瀬	旭		16
145	42	17	2	林道子		愛宕		16
146	42	17	3	櫻田俊行		愛宕		16
147	42	17	5	工藤純一	篠田	新川	卓球	16
148	42	17	7	高橋順吉		船見	応援団	22
149	42	17	7	谷杉栄策		浜分	卓球	22
150	42	17	7	佐藤俊一		愛宕	応援団	22
151	42	17	7	長尾祥子		潮見		22
152	42	17	9	竹澤秀明		潮見		22
153	42	17	9	市野修一		愛宕	化学	22
154	42	17	9	松田周二			美術	22
155	42	17	10	鴻池佳衣子	田中			22
156	42	17	10	岩片文子	打田	桐花		22
157	42	17	10	金濱栄子	国分	上磯		22
158	43	18	1	浜勝信		船見	吹奏楽	13
159	43	18	1	中川隆		潮見		13
160	43	18	2	佐藤雅英		潮見	バスケット	1
161	43	18	3	馬場政平		愛宕	バスケット	13
162	43	18	3	竹田光男		旭		13
163	43	18	3	黒澤潤一		潮見		13
164	43	18	3	松田邦男		松川	山岳	13
165	43	18	6	吉田厚		旭		13

## 第 15 回総会・懇親会 出席者名簿

NO	卒年	回生	組	氏 名	旧姓	出身中学	所属部活	テーブルNO
166	43	18	6	酒井 哲美				13
167	43	18	6	桜井 利正				13
168	43	18	6	能登谷 公				13
169	43	18	6	陳 有崎				14
170	43	18	7	岩倉 高志		愛宕	ラグビー	14
171	43	18	7	三浦 正樹		上磯		14
172	43	18	7	安原 秀樹		旭	サッカー	14
173	43	18	7	原 真人				14
174	43	18	8	従 二元久		愛宕	放送	14
175	43	18	8	伊藤 愛子	小海老沢	愛宕	合唱	14
176	43	18	8	関口 精治		船見		14
177	43	18	10	野沢 睦子		大沼	ESS	14
178	43	18	10	岩瀬 友子	長谷	港	ESS	14
179	44	19	2	川瀬 俊吉		大沼	応援団	23
180	44	19	5	斎藤 映二		木古内		23
181	44	19	5	栗原 陽子	佐藤	愛宕		23
182	44	19	6	藤谷 敏雄		愛宕	応援団	23
183	44	19	6	中居 洋子		愛宕	新聞	23
184	44	19	9	渡辺 千里		船見	ラグビー	23
185	45	20	1	桜井 雅幸				20
186	45	20	1	片桐 信行		潮見		20
187	45	20	4	高村 亨		浜分	写真	20
188	45	20	4	乙川 治美	八木	潮見		20
189	45	20	6	二階堂 功		愛宕	空手	20
190	45	20	6	井田 幸子		大島	新聞	20
191	45	20	8	松田 陽一		船見	バスケット	20
192	45	20	8	平岡 みゆき	高橋	上磯		20
193	45	20	8	牛田 欣也		的場	吹奏楽	20
194	45	20	9	船木 潤		光成		20
195	46	21	9	青木 保		上磯	応援団	21
196	46	21		平 智則		大沼		21
197	47	22	2	根本 修		桐花	吹奏楽	21
198	47	22	8	大谷 雅彦		愛宕	バドミントン	21
199	48	23	2	西山 和子	一瀬	潮見	バドミントン	24
200	48	23	2	河野 隆子	大川	愛宕		24
201	49	24	1	姥久手 崇		新川	吹奏楽	19
202	49	24	1	葛西 弘美	正木	新川	テニス	19
203	49	24	2	小林 多美	島崎	旭		19
204	49	24	3	梅津 典純				19
205	49	24	3	佐藤 好正				19
206	49	24	4	横田 久子	後藤	旭		19
207	49	24	7	京極 信良		桐花	吹奏楽	19
208	49	24	7	岸本 祐逸		知内	ラグビー	19
209	49	24	8	福田 康典		吉岡		19
210	50	25	7	小林 正昭		的場		21
211	52	27	4	野口 卓史		臼尻	卓球	21
212	52	27	6	對馬 大平		五稜		21
213	56	31	2	中川 喜久則		旭		23
214	56	31	2	土矢 一如		深堀	ラグビー	23
215	57	32	1	長谷川 好広		松前		21
216	57	32	2	山越 准司		深堀	空手	21
217	57	32	2	佐々木 雅子		本通	美術	21

## 《締後扱い》

1	37	12	7	村井 邦子	荒谷	潮見		23
2	37	12	7	月永 充		潮見	ラグビー	23
3	43	18	1	折田 信一		旭	ラグビー	24
4	57	32	3	佐々木 直樹		潮見		24
5	34	9	1	大谷 長弘		旭	柔道	23
6	34	9	2	今 修司				23
7	34	9	3	小島 紀美子	道谷			24
8	34	9	6	北川 佳子		旭	ヨット	23
9	39	14	2	木津 則子	深沢	浜分	華道	18
10	43	18	5	西田 吉克		潮見		24

東京支部総会・懇親会 実施記録

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
開催年	昭和60年	昭和62年	平成元年	平成3年	平成5年	平成7年	平成9年	平成11年
開催日時	10月19日 (十)	10月17日 (十)	9月25日 (十)	10月12日 (十)	10月16日 (十)	10月21日 (十)	10月18日 (十)	10月23日 (十)
開催時刻		14～16時		13時30～16時	11時30分～	11時～13時	13時～16時	13時～16時
開催場所	恵比寿 ビクスラー・ジョン・恵比寿	池袋・東武百貨店 15階 ビクスラー・パルレーン	新宿・小田急百貨店 14階 パルレーン	新宿・小田急百貨店 14階 パルレーン	恵比寿 ビクスラー	恵比寿 ファミストブローイ	恵比寿 ファミストブローイ	恵比寿 ファミストブローイ
〔役員〕								
会長	中川巴(高30)	新谷義克(1)	新谷義克(1)	新谷義克(1)	新谷義克(1)	新谷義克(1)	新谷義克(1)	新谷義克(1)
副会長	新谷義克(1)	加藤東郎(3)	鎌田和子(高35)	鎌田和子(高35)	鎌田和子(高35)	鎌田和子(高35)	鎌田和子(高35)	小西弥生(高38)
副会長		渡部久仁夫(3)	加藤東郎(3)	加藤東郎(3)	加藤東郎(3)	加藤東郎(3)	加藤東郎(3)	加藤東郎(3)
代表幹事	斎藤量(4)	斎藤量(4)	斎藤量(4)	斎藤量(4)	斎藤量(4)	斎藤量(4)	斎藤量(4)	小嶋俊昭(10)
〔総会〕								
議長			1～4号議案	1～4号議案	1～5議案	1～4号議案	1～4号議案	1～3号議案
書記			加藤東郎(3)	郷内繁(4)	郷内繁(4)	郷内繁(4)	郷内繁(4)	郷内繁(4)
計監査			小嶋俊昭(10)	村岡光祐(11)	鈴木隆昌(12)	三村春雄(13)	堀内洋子(14)	五十嵐優子(15)
実行幹事	7回生 田中潤一	9回生 佐々木理夫	10回生 小嶋俊昭	11回生 村岡光祐	12回生 鈴木隆昌	13回生 小玉正義	14回生 滝一郎	15回生 木村隆夫
出席者実数	316		326	301	266	373	343	324
来賓実数	5		4	5	11	14	16	18
〔懇親会〕								
開会の辞			徳永豊吉(10)	村岡光祐(11)	斎藤量(4)	小玉正義(13)	依田征子(14)	市川友俱子(15)
乾杯	鈴木さち(高25)			渡辺教諭	山口英子(高女)	名取昭二(1)	石岡専心 校長	新野健 校長
記念品贈呈						手カガミ	宇野千代・風呂敷	ビデオ・状差し
アトラクション	伊藤欣子(2)	伊藤欣子(2)	伊藤欣子(2)	ハワイアンバンド 伊藤欣子(2)	抽選会 港まつり音頭	抽選会 港まつり音頭	和太鼓「飛翔」 港まつり音頭	サンボン・ハ木こうこ 北海道物産のオケラソ 港まつり音頭
応援歌				高女・西高	高女・西高	応援団有志 高女・西高	応援団有志 高女・西高	応援団有志 高女・西高
閉会の辞	長田和夫(1)		斎藤量(4)	斎藤博(11)	鈴木隆昌(12)	小玉正義(13)	滝一郎(14)	木村隆夫(15)

	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回
開催年	平成13年	平成15年	平成17年	平成19年	平成21年	平成23年	平成25年	平成27年
開催日時	10月20日 (土)	10月11日 (土)	10月8日 (土)	5月20日 (日)	5月9日 (土)	5月21日 (土)	5月18日 (土)	5月 予定
開催時刻	13時30～16時	13時30～16時	13時～16時	12時～15時	12時～15時	12時～14時30分	13時～16時	
開催場所	恵比寿 フェストプロイ	霞が関ビル33階 東海倶楽部	霞が関ビル33階 東海倶楽部	霞が関ビル33階 東海倶楽部	虎ノ門 パストラルホテル	目白 椿山荘	目白 椿山荘	未定
役員	会長 新谷善克(1) 副会長 小西弥生(高38) 副会長 加藤東昭(3) 副会長 渡部久仁夫(3)	会長 新谷善克(1) 副会長 小西弥生(高38) 副会長 加藤東昭(3) 副会長 渡部久仁夫(3)	会長 新谷善克(1) 副会長 小西弥生(高38) 副会長 郷内繁(4)	会長 新谷善克(1) 副会長 小西弥生(高38) 副会長 郷内繁(4)	会長 新谷善克(1) 副会長 小西弥生(高38) 副会長 郷内繁(4)	会長 新谷善克(1) 副会長 小西弥生(高38) 副会長 郷内繁(4)	会長 新谷善克(1) 副会長 成田慶子(女高2) 副会長 郷内繁(4)	会長 新谷善克(1) 副会長 成田慶子(女高2) 副会長 郷内繁(4)
代表幹事	小嶋俊昭(10)	小嶋俊昭(10)	小嶋俊昭(10)	小嶋俊昭(10)	高橋順吉(17)	若林英毅(11)	若林英毅(11)	竹澤秀明(17)
[ 総 会 ]	1～3号議案	1～4号議案	1～4号議案	1～3号議案	学年幹事会決定事項報告	学年幹事会決定事項報告	学年幹事会決定事項報告	
議長	郷内繁(4)	郷内繁(4)	木村隆夫(15)	郷内繁(4)	郷内繁(4)	郷内繁(4)	郷内繁(4)	
書記	安原秀樹(18) 川瀬俊吉(19)	藤谷敏雅(19) 加藤理知子(20)	加藤理知子(20) 松田陽一(20)	坂口清隆(16) 猪ノま子(19)	堀内洋子(14) 森加代子(13)	堀内洋子(14) 森加代子(13)	堀内洋子(14) 森加代子(13)	小林多美(24) 森加代子(13)
会計監査	竹澤秀明(17) 安原秀樹(18)	安原秀樹(18) 加藤文比古(19)	加藤文比古(19) 高村亨(20)	堀内洋子(14) 高村亨(20)	堀内洋子(14) 森加代子(13)	堀内洋子(14) 森加代子(13)	堀内洋子(14) 森加代子(13)	小林多美(24) 森加代子(13)
実行幹事	17回生 高橋順吉	18回生 佐藤雅英	19回生 川瀬俊吉	20回生 松田陽一	16回生 坂口清隆	事務局 高橋順吉(17)	事務局 高橋順吉(17)	事務局 齋藤勝美(13)
参加実数	313 14	288 21	223 20	189 14	238 21	204 12	223 14	予定 14
[ 懇 親 会 ]								
開会の辞	佐藤雅英(18)	折田信一(18)	川瀬俊吉(19)	松田陽一(20)	郷内繁(4)	郷内繁(4)	郷内繁(4)	郷内繁(4)
乾杯	新野健 校長	鳥居大路勝廣 校長	東京事務所長 阿部喜久雄	本間謙太郎 本部長	富士昭一 関西支部会長	富士昭一 関西支部会長	安房眞雄 校長	
記念品贈呈		亀谷彰夫(3)・斉藤量(4)						
アトラクション	フルート演奏 中国舞踊 港まつり音頭	サキソノアバンソナル 抽選会 港まつり音頭	越谷竜虎太鼓 港まつり音頭	早大 ニューオリンズ 港まつり音頭	フナーズ・フナー フナーズ・ダンス ユニバーサルオーケストラ 港まつり音頭	フルーヴアバンソボーイズ 港まつり音頭	フルーヴアバンソボーイズ 安房眞雄・校長 港まつり音頭	港まつり音頭
応援歌	応援団有志 高女・西高	応援団有志 高女・西高	応援団有志 高女・西高	応援団有志 高女・西高	応援団有志 高女・西高	応援団有志 高女・西高	応援団有志 高女・西高	応援団有志 高女・西高
閉会の辞	小嶋俊昭(10)	小嶋俊昭(10)	小嶋俊昭(10)	小嶋俊昭(10)	坂口清隆(16)	小嶋俊昭(10)	竹澤秀明(17)	

☆この表は未完成のものが、参考に纏めてみました。空欄を埋めて頂けたら幸いです。情報を事務局宛にお寄せ下さい。総務担当 18回生 佐藤雅英

連絡先 事務局 03-5609-9881  
〒136-0072 江東区大島 8-41-15-215

## 欠席者からのメッセージ

## ◇返信はがきより

返信はがきで、4月26日まで欠席のご連絡を頂いた方のメッセージ一覧です。

三岡松子(高女28)昭和11年卒業で、随分昔のことになりましたが、何時も懐かしく思い出しております。母校の益々のご繁栄を祈ります。

佐藤マサ(高女30)出席を楽しみにしておりましたが体調が悪く残念ながら欠席致します。盛会をお祈り致します。浅岡文子(高女31)御盛会をお祈り致します。

山口寿(高女31)ひざが悪く外出を控えて居り残念です。会の御盛会をお祈り致します。

吉田すゞ(高女32)歩行困難の為、出席出来ません。

石垣涼子(高女34)久し振りに皆様にお会い出来ると思っておりましたのに、月中旬に函館に行く事になっておりますので出席出来ません。幹事の方々大変です。

戸根幸子(高女34)寒くなつてから体調不良です。血圧高く足の具合が悪くなり、楽しみにしておりましたのに。(前回出席されました)

永井たか(高女34)丁度上京中にてご返事が遅くなり申し訳御座いません。のんびりした地で元気に過ごしております。皆様宜しく。

三野タケ(高女34)年相応に老化してよぼよぼです。遠出は一人で出来なくなりました。医者通いばかりしてまずので失礼します。

渡辺知子(高女34)出欠お知らせおそくなつて申し訳ございません。

肥田洋子(高女35)最高年齢者になつていのではないかと恐縮しております。元気な仲間もいると思いますが、上京不能で残念です。御盛会を祈つてまいります。

森谷セツ(高女35)医院開業50数年に成りますが健康に恵まれまだ週3日(平日)の診療を続けて居ります。皆様のご活躍をお祈りします。

戸田ヤイ子(高女36)年齢的に、また病弱の為、欠席致します。益々の御盛況の程、願っております。

谷本かう子(高女36)つゝじヶ丘の発展を心より祈ります。男性の後輩が居てくれるなんて大変心強い限りです。

江口和子(高女36)1月末坂戸駅改札出た所で、超スピードで走つて来た高校生に突き飛ばされ転倒、大腿骨骨折をし、手術は完治しましたが只今リハビリで入院中。とても楽しみにしておりましたが大変残念です。二年後の総会懇親会には是非出席したく思つて居ります。

大辻澄江(高女37)御盛会をお祈り致します。

柿崎ケイ(高女37)5月17日が妹の一周忌で小樽に行きますので出席が出来ず残念です。

白幡榮子(高女38)歩行困難、車椅子の生活の為、参加不能。皆様の御健闘を祈ります。

藤崎悦子(高女38)お知らせ有難う御座います。体調不良の為欠席させて頂きます。年会費は振り込みました。門田ミチ(高女38)母は老人性白内障にて治療中の為また二年前より足が弱りリハビリ中です。食欲は有元気で。皆々様に宜しくお伝え下さい。門田章裕

小室禮子(高女38)ご案内有難う御座います。絵画展と重なり(日府展・上野美術館に於いて)残念ながら欠席。ご発展お祈り申しております。

大谷泰子(高女38)体調に不安があり、大きな集まりには遠慮せざるを得ません。同窓の皆様のご健康とご幸福をお祈りしております。

久保タミ(高女38)久し振りに出席しようと思つていましたが17日18日と出掛けてしまつて残念に思つています。どうぞ盛大な大会になりますように。

鈴木八重子(高女39)スケジュールが重なりますので、残念乍ら欠席致します。佐々木トヨ子(高女39)お役目御苦労さまです。盛会を祈つております。

大塚洋子(高女40)体調悪く、失礼致します。(前回出席されました)

下村京子(高女40)先回、振込用紙が入つていなかった為、入金失礼致しました。(事務局から;入金されています)

堤洲子(高女40)欠席申し訳ありませぬ。

上村ミチ(高女40)御会のご発展をお祈り致します。現在毎日無事過ごしております。色々の雑用が有りそれなりに動きまわっております。

小林禮子(高女41)皆様楽しい一日を過ごされます様願っております。

辻原千枝(女子高1)年齢が82歳ともなりませんと、同期の方達とももう音信不通です。去年大病もしました。湯川成子(女子高2)気温の差がはげしく、杖をついてフラフラ歩いております。5月ですと、余計自身がありませんので注意します。

渡辺静子(女子高2)残念ながら欠席致します。

高木清子(女子高2)体調がすぐれずにおります。日々いたみが増して来る様子が欠席致します。

田村絢子(女子高2)ご案内有難うございました。大変残念でございますが当日先約があり都合が付きません。ご盛会をお祈り致します。

荒木和子(高女)御案内有難うございます。以前から決まった事が有り当日は私の都合により欠席いたします。御盛會を祈り上げます。

太田良子(1)元気にしております。おさそいありがとうございます。会の御盛會をお祈り致します。

若林省吾(1)多芸にしていそがしくしています。

田中直子(1)年なりに元気にやつてます。

菅原靖(1)先約が有り不参加。川口よね子(1)皆様のご健勝をお祈りしております。

その後は札幌、函館及び東京三各地で行われる事になった。

北島松太郎(2)(3)体調が悪いので欠席します。御盛会を祈ります。

計良幸恵(2)(3)本人加療中の為欠席させて頂きます。

荻野幸平(2)(3)日常生活については、いまのところ普通に出来て居ります。

田中明夫(2)(4)元気で居ります。

畑中誠治(2)(6)旅行の計画有りまして都合悪く欠席です。皆様のご健康を祈つてます。宜しく。

小野八郎(2)(7)ご盛会をお祈りします。

木村雅子(2)(7)夫亡くしたばかりですの  
で今回は欠席させて頂きます。

清水和子(3)(3)いつもお便りありがとうございます。現在我が家は高齢者家族で後期高齢者が介護していますので長時間留守にする事が出来ませんので残念ながら今年も欠席です。皆様によろしくお伝え下さいませ。

永井信明(3)(4)一昨年心臓手術の後、昨年も入院があったのでまた脚力が回復せず歩くのが大変な状態です。

後藤榮子(3)(4)15回記念総会なのに体調不良に付き欠席致します。御盛会をお祈り致します。

菊池不二子(3)(5)同窓会が毎年開催されていることを、とても嬉しく存じます。益々の発展を願います。いつもご連絡下さりお礼申し上げます。

望月晴夫(3)(5)体調不良により欠席させて頂きます。

佐藤明夫(3)(6)東日本大震災から2年目を迎えました。特に津波、原発事故災害からはまだ抜け出せず、20年、30

年先の春を待つ毎日です。皆様方のご多幸をお祈り致します。

原加代子(3)(7)当日は所用がありますので欠席いたします。

三好留五郎(3)(8)陸上部、八雲、大野駅伝で大変お世話に成りました「タク」さん「三上」さん どうしてますか？

外村弘臣(4)(1)遠出は無理なので、見合おせします。皆様に宜しくお伝え下さい。

山本修三(4)(1)ご盛況をお祈り申し上げます。

高橋秀演(4)(2)同窓会は永年ご無沙汰ばかりで申し訳無し、同期会には出来る限り参加して居ます。会費が高いのが出席のネックです。安い会場での開催は無理ですか？せめて50〜60%位で。

永田明子(4)(2)元気にしており、同期会を楽しんで居ります。

立川清(4)(4)事務局堀内様、お誘いありがとうございます。残念ですが都合つかず申し訳ありません。他の機会がありましたらよろしく。

齋藤隆平(4)(7)二つの合唱団で歌つてます。盛会を祈ります。

菅原洋一(5)(1)又の機会を楽しみにして

ます。

西牧誠治(5)(4)日日は好日ですかね。

相馬滋(5)(4)足を痛め通院中で欠席と成りました。ご盛会をお祈り致します。

小林幸子(5)(4)コーラスをやっています。ボケ防止のために発表会にも積極的に出て居ります。

森田実(5)(4)腰痛、ヒザ痛、痛風で通院中です。

宇野兼弘(5)(4)親しくしていた友々が少なくなり寂しい限りです。御盛会を念

じます。

山平尚子(6)(1)高校2年秋の転入で中学は、平一中です。

尾島由紀(6)(2)ご盛会でありませう。笹原久子(6)(3)歯を痛めて、昨年より歯科医院に通院して居ります。食事が思う様に出来ないで外出をさせています。

永山幸子(6)(3)盛会をお祈り申し上げます。

高橋宏子(6)(4)毎年五月末函館での学

大同期会に出席しているのですが、今年はまだ決まって居ないので、かち合つては困りますので・

渡辺郁蒼(6)(4)ご盛会をお祈り致します。

平河節子(6)(4)欠席させて頂きます。ご盛会を祈念いたします。

落合徳彦(6)(6)所用の為欠席します。

西野省三(6)(7)盛会を祈つております。当方は至つて元気で過ごして居ります。当日先約が有りましてどうしても抜けられず出席断念しました。

梅津善徳(7)(1)元気にしております。御盛会を祈念致します。

東谷正幸(7)(4)皆様に宜しくお伝え下さい。

井村司(7)(6)すみません。旅行の予定と重なりました。

飯田剛一(7)転出生憎。都合が悪く欠席させて頂きます。

水野開策(8)(4)昨年末8回生の中野弘子さん亡くなりました。

米田紀子(8)(7)眼科施術日直後の為出席出来ず残念です。御盛会をお祈り致します。

山崎紀代士(9)(2)土、日は仕事ですので平日の開催を希望します。

二関龍子(9)(3)現在入院中の為欠席。

奥山吉彦(9)(3)多少身体にガタが来ています。何とか頑張っています。

松本芳人(9)(3)家内が認知症の為、留守に出来ませんので欠席します。皆様に宜しくお伝え下さい。

鴛田典子(9)(4)いつもお世話様です。私も年齢なので老人会町会の役をうけもたされてお都合がたたないので一応欠席にしておきます。

森英爾(9)(4)日本に不在の為出席出来ません盛会を祈念致します。

根上紀代子(9)(5)返信が遅れて申し訳ございません。

中谷佐智子(9)(6)幹事の皆様有難う御座います。当日が御盛会でありますよう念じます。

西山信子(10)(5)丁度その日は、函館に行く為。出発する日です。皆様宜しくお健やかに過ごして下さい。

齋藤紘一(10)(7)4月末〜10月中旬、札幌在住で避暑とゴルフ。冬場半年は上記本宅。

赤塚雅弘(10)(7)体調がすぐれず、残念ですが出席する事が出来ません。お集まりの皆様によろしくお伝え下さい。

菅原靖夫(11)(1)お世話になります。都合により欠席します。皆様によろしく。

亀谷勝(11)(3)盛会にと祈念します。

小野寺範男(11)(3)ごめんなさい。机に重ねたまま、つい失念していました。しかも欠席まことに申し訳ない。というわけで、会費も本日(17日)振込しました。

安藤維子(11)(4)当日、他用ありますので、残念ながら欠席させて頂きます。ご盛会を祈念致します。

水野孝雄(11)(7)お世話様、ありがとうございます。古希の年齢になりましたが、元気で

ます。

松田勢彌子(11⑧)いつもお世話になり  
ありがとうございます。

安藤優一(11⑧)病気の為。

和田章(11⑧)二年前 68 歳で会社を退  
職妻と月一回温泉旅行を楽しんで居り  
ます。

藤井由美子(11⑧)所用の為欠席させて  
頂きます。幹事さんへ苦勞様です。

大林裕子(11⑧)残念ですが参加出来ま  
せん。盛会であります様に。

藤田旗江(11⑨)連絡いただきありがと  
うございます。とりあえず健康に過  
してまいります。

秋山重子(12③)今回はどうしても都合  
がつかません。外岡さんの青学 O B バ  
ンドの演奏を聴きたかった。友人から  
「若く見える」と言われると「ウツッシ  
〜！」と本気にしています。元気にして  
おります。

尾崎和彦(12⑤)いつもお世話様です。

総会・懇親会ご盛会を祈っております。  
安澤康子(12⑤)何時もお世話をおかけ  
致しております。申し訳ございませんが  
欠席させていただきます。

大江愛子(12⑥)皆様 これからはお体  
に御自愛下さってお過ごし下さいネ！  
丸町芳夫(12⑧)体調おもしろくないの  
で、欠席させていただきます。

小河大三郎(12⑧)先約が有り申し訳あ  
りませんが今回は欠席とさせていただきます。

石山弘子(12⑧)所用が有り残念ながら  
欠席致します。御盛会をお祈りしてお  
ります。

枝窪義明(12⑧)人工透析治療を受けて  
おり、当日は通院のため出席できません。  
盛会をお祈り致します。

中川啓(13①)遅くなり申し訳ございま  
せん。

高嶋郁子(13③)係の皆様にはお世話に  
成っております。夫の介護をしております。  
出席出来ません。

長津俊(13③)総会・同窓会の準備ご苦  
勞様です。

松坂ミツエ(13⑦)以前からの先約があり  
残念ですが出席しません。

長谷川容子(13⑦)毎回お便り有難う  
ございます。うれしく思っております。  
出席出来ませんことを心苦しく真に申  
し訳ないことと存じて居ります。

本間淳子(13⑧)何時も諸々のご案内有  
難うございます。

川崎正行(14①)皆々様へよろしく。

谷藤千鶴子(14②)お世話に成っており  
ます。四月に吉田裕子さんと旅行をす  
るので、五月の上京は無理の様です(二  
人共)。皆さんとお会いできずさんねん  
です。

平田敦子(14②)都合により欠席させて  
いただきます。せつかくの記念すべき総  
会なのに申し訳ありません。

木津則子(14②)欠席で申し訳ありませ  
ん。佐々木太郎新会長の下ますますの  
発展をお祈り致します。

佐々木一博(14②)仕事の為 土の P M 3  
時以降なら可

小島光枝(14③)まだ病み上がりなので  
出席出来ません。宜しくお願い申し上げ  
ます。

新野繁信(14③)新会長・新副会長就任  
おめでとうございます。旅行中につき、  
今回は欠席します。

浜谷弘(14③)体調悪く外出が無理なの  
で出席出来ず、申し訳ありません。

藤川裕治(14③)体調不良で欠席致しま  
す。皆様健康にお気を付け頑張つて下  
さい。

富岡稔(14③)仕事があり参加出来ませ  
ん。残念です。

竹山紘子(14③)5月の予定本日(6日)  
決定し 5月 17、20 日札幌で出席出来  
ず残念です。思いは田代さん、道下さん  
に託します。皆様のご活躍心よりお祈  
りしております。

坂本喜久子(14④)返信が遅くなり申し  
訳ございません。

高橋さと(14)転出いっもお世話様で  
す。

津澤和範(14⑤)盛会になりますように。  
みなさまによろしく。

林元義(14⑤)翌日洞爺湖マラソンに出  
場するので欠席します。盛会をお祈り  
致します。会長・副会長頑張つて下さい  
ね。

山内忠淳(14⑦)取り合えず欠というこ  
とで、出席出来るようなら連休明けに  
連絡致します。勝手を言つてすみませ  
ん。

出雲紀久代(14⑧)ご案内ありがとうございます。  
この度の会長、副会長ご就任  
おめでとうございます。益々の御活躍  
をお祈り致します。

佐藤和子(14⑨)いつも欠席ですみませ  
ん。

坂本睦子(16①)返事が遅れ、ごめん  
なさい。お手数をおかけしました。

松岡俊治(16③)皆様のご健勝を何時ま  
でもお祈り申し上げます。

平野眞理子(16③)出席出来るかなあと  
思つて居りましたが、都合が悪く欠席致  
します。御盛会お祈り致します。

長屋恵子(16⑤)寝たきり要介護 5 の母  
の世話をしている為欠席します。お世話  
様です。

熊沢智(16⑦)当日会社業務の為、出席  
できません。関係皆様に宜しくお伝え  
下さい。

野沢孝一(16⑨)長期不在だったため、  
連絡が遅れて申し訳ありません。本日  
会費も送金させて頂きました。

渡辺元(16⑨)小学校職員をしながら  
「シルバー」を楽しんでいます。

池永敏信(17②)先約が有る為出席でき  
ません。皆様によろしくお伝え下さい。  
24 年 11 月で退職いたしました。

岩山真一(17⑤)いつも出られずすみま  
せん。幹事のみなさんありがとうございます。  
皆さんに会いたいです。どうぞ健康  
に留意されて久長い活躍をお祈り致し  
ます。幹事の皆様に宜しくお伝え下さ  
い。

鈴木由子(18①)残念ですが、欠席致し  
ます。(5月 8、13 日まで函館へ帰り  
ます)次には皆様とお会いしたいと思  
います。

中村みな子(18③)申し訳ありません。  
当日函館(帰省)の予定です。

花田貴宣(18⑤)当日所用のため出席で  
きません。ますますのご発展を心より  
お祈りいたします。

浜井九五(18⑨)第二の人生、やりたか  
つた趣味等の楽しみに生きています。旅  
もまた良し、皆様も健康に気を付けて  
お過ごし下さい。

水上幸江(18⑩)他で予定していた旅行  
とぶつかつてしまい残念です。

河野真利子(18 転出)他の仕事と重なり、今回も欠席となりました。

岡本泉(20 ⑧)いつもご案内いたあきありがとうございます。いまだに何かと忙しく出席できません。皆様のご健康をお祈りいたします。

佐藤光恵(19 ③)役員の皆様いつも御苦労さまです。今年こそはと思いつつ欠席残念です。初孫が今年高校入学です。無事元気が何より感謝、感謝。

宮崎央子(21 ⑦)誠に申し訳ありません。体調が今一ですので欠席致します。藤浦ようこ(21 ⑨)今回は行けません。北郷康子(22 ①)投函が遅くなり申し訳ありません。

北島庸子(19 ④)御案内ありがとうございます。

武石義正(22 ⑤)残念です。ギリギリまで調整して居りましたが都合が付かず欠席です。皆様でなつかしい時をお過ごしください。

広川幸子(19 ④)土曜日は仕事です。高橋福子(19 ⑤)今年も早くから寒い冬の日は多かったです。3月に入つてからは暖かい日が続いています。皆様によろしくお伝え下さい。(長野の方)

川西富士子(24 ③)幹事の皆様、ご苦労中野恵子(24 ⑤)当日は都合が悪く出席出来ません。皆様の御健勝をお祈り致します。

平田芳明(19 ⑦)今回どうしても出席しなければならぬ機会が重なり残念ながら出席できません。

近藤志津子(24 ⑥)多美ちゃん返事が遅れてすみません。ちょうど旅行の予定をたてる頃なので欠席でお願いいたします。娘さんのご結婚おめでとうございます。

桜井裕子(19 ⑧)皆さまどうぞお元気で楽しんで下さい。

菊池浩行(24 ⑦)盛会をお祈り致します。古館一幸(25 ④)ご苦労様です。今後も宜しく願ひ致します。

小柳泰博(20 ③)申訳ありません。当日は仕事の為出席できません。宜しくお願ひします。

トウマンジュ恭子(26 ⑦)当日はちょうど仕事と重なり出席できず残念です。御盛会をお祈り致します。

財津和子(20 ③)連絡いただきありがとうございます。

栃木淑子(26 ⑧)東京に引越し、東京支部事務局近くになりましたので宜しく願ひいたします。

斎藤ひろ子(20 ⑥)皆様のご健康をお祈り致します。

川口正廣(28 ④)日程が合わず参加出来ずすみません。次は坪山さんと一緒にいたいと思います。

前田久子(20 ⑦)3月17日に転居いたします。

佐藤幸子(35 ⑤)10月の函館の同期会には参加したいので体力作りしてします。

## ◇会費振込み用紙

### (伝言欄)より

永井たか(高女34)23年3月より函館の施設に参りました。3ヶ月に一度は上京し東京の風に当たつております。一人旅の出来る間は続けようと思っております。函館はのんびり出来て大好きです。皆様によろしくお伝えくださいませ。

肥田洋子(高女35)いつも御連絡ありがとうございます。年令となり大会出席不能になり申し訳ありません。

北島松太郎(23)体調が悪いので欠席します。ご盛会を祈ります。

伊藤欣子(27)同窓会の行事には都合のつく限り出席し(いつもお世話様です)出来るだけ参加したいと思ひます。(80歳の今もうただけは続けております。)

木村雅子(27)旧交を暖め楽しんで下さい。

粕谷陽子(56)第15回記念総会、開会おめでとうございます。益々のご盛会をお祈り申し上げます。

尾島由紀(62)いつも御連絡ありがとうございます。また新聞を拝見したいです。大変でしょうが、よろしくお願ひします。

水野孝雄(11 ⑦)お世話ありがとうございます。

森越勝(13 ⑧)いつもありがとうございます。

高桑慶次(14 ④)妻病気の為出席できませんが、集まった皆さんで盛り上がりつつください。

村本茂子(14 ②)いつもお世話様です。アチコチ痛いところをダマシダマシ...? 頑張っています。おしゃべりは大丈夫です?

角田優子(14 ⑦)まあ14回生の佐々木さん堀内さんが会長副会長(就任されます)由!!!おめでとうございます!!!

網裕子(14 ⑧)洋子さんお元気ですか。お手数おかけしますが宜しくお願ひします。どうぞお身体ご自愛ください。

猪しま(16 ③)御案内ありがとうございます。お世話になるばかりです。

池永敏信(17 ②)平成24年11月現勤務先を退職いたしました。現在無職です。

岩山真一(17 ⑤)いつも欠席ですすみません。

市野修一(17 ⑨)いつもお世話様です。

齊藤映二(19 ⑤)毎回御苦労様です。

桜井裕子(19 ⑧)いつもありがとうございます。藪越先生に宜しくお伝え下さい。

小柳泰博(20 ③)当日は仕事の為、申し訳ありません欠席です。

藤浦ようこ(21 ⑨)今年、函館行くぞー!!

前田信幸(22 ⑥)いつも、ありがとうございます。

特集 1

《特別寄稿》

『高女時代の想い出』

高女 33 回生 石畑きね子



私達 33 回生  
が入学したのは昭和 12 年 4 月でした。丁度日支事変が始まった年、卒業

は昭和 16 年 3 月、その年の 12 月 8 日は太平洋戦争が勃発しました。

4 年生卒業後は家庭に入る人、専門学校へ上京する人(少数)、学校に残って普通科・家政科に進む人と、それぞれの道に分かれました。今と違って女性の職業は少なく、銀行、商社、女教員等でした。

新制になる迄は小学校 6 年生からの受験があり、庁立高女又は庁立中学(男子)を目指して、各学校の 6 年生担任は各小学校と合格人数を競っていたと思います。授業が終ってから、暗くなる迄学校に残り勉強させたと思います。殊に庁立高女卒の 6 年生担任は、我が母校に合格させる為一生懸命「力」を入れた様です。

私達の年の受験生は 700 名以上いたと聞いています。合格は 250 名でしたから約 3 倍だったのでしょうか。

入学が決まると丸井今井デパートが出張してきて、制服(セーラー服)、紺色の帽子のオーダーをしました。これからの大きな戦争が起きる予感はまだまだしていいない良き時代でした。洋服の生地はまだ純毛でした。また冬になると、スキー、スキー用品の販売など、小学生の氣質の抜けない少女たちは、少しずつ大人になっていったと思います。

4 年間又は 5 年間を通して、同じ先生に授業を受けたのは、音楽の根上先生、絵画の田辺三重松先生(3 年生から)、裁縫の中村先生、習字の春日先生(2 年生から)でした。その外は生物、化学、物理と 1 年ごとに替り、国語は女教師が多かったせい何人も替り、余り身を入れて勉強しなかった様な気がします。歴史の塚原先生、外村先生は面白い授業をなさった記憶があります。一番影響を受けたのは根上先生、田辺先生、春日先生(私は)でした。

根上先生の授業はとても厳しい(おっかない)と云う友人が多いのですが、私は尊敬する方が強く、授業の内容も高度なものでした。オーケストラの楽器の音をレコードで聴かせ、その音で楽器の名称を当てる試験があり、ピッコロ、オーボエ、フルート、クラリネット、ホルン、トランペット、ファゴット等々、全部覚えて今でもオーケストラでは、どの位置にどの楽器がと良く解ります。又 4 年生の合唱曲(日魯の講堂で音楽会)は、ボロディン作曲

の合唱曲(韃靼人の踊りと合唱)、四部合唱(山の乙女のうた)でした。先生が 250 名の楽譜を先生の手で全員にガリ版摺りで渡して下さった時はとても感激し、昭和 41 年 4 月上京するまで手元にあり、時々出しては思い出して居りました。

因らずも上野学園短期大学音楽科に勤務する事になり、何かの深いご縁かと思っています。又娘たちもピアノ、フルート、孫たちもピアノ、チェロ、バイオリンと、趣味にプロにと進んで居ります。殊に諏訪内晶子は、プロとなり世界中を駆け廻り今年 2 月には横浜、仙台を拠点として音楽をプロデュースし、仙台では震災の復興に努めました。根上先生がいらっしやったら喜ばれる事と思つて居ります。又田辺先生は 3 年生からでしたが、画期的な授業法で小学校から図画だけが苦手な私も一変しました。先生の生誕 110 年記念絵画展(平成 19 年)を銀座松坂屋で開催し、私は 3 点の日本画を提出し、中部高校は 7 名、遺愛高校は 3 名、西高 2 名と少し淋しい思いをしました。只今は横浜 NHK カルチャ 1 日本画教室に月 2 回通い、毎年の展覧会にも参加しています。春日先生は私が補習科の時、三体千字文を出版され、今でも利用しております。

4 年生に近づくにつれて、戦争の気配が濃くなり、北支に出征したり戦死したり、身内にも心配が漂って来ました。制服もスフ(人絹混紡)となりました。唯一楽しい思い出は、

戦前最後の修学旅行でした。函館発昭和 15 年 5 月 27 日日本海廻り鈍行、京都市着 5 月 31 日、2、3 泊の車中泊でトイレは満杯、起床は床上若かったから楽しい思い出になったのでしよう。奈良、名古屋、東京着は 6 月 4 日、疲れと寝不足で乗り物は居眠りの連続でした。唯一豪華だと思つたのは、東京見学はタクシーを連ね廻った事でした。

それでも、まだ太平洋戦争が始まっていなかつたので、日魯の講堂で藤原義江、斉田愛子の美声に聞き惚れ、巴座(畳席)では三浦環のソプラノ蝶々夫人に聞き惚れ、映画鑑賞では、オーケストラの少女(主役ダイアナダービン)の歌声に感動し、「椿姫」を教室で唱う友人も始め、興奮覚め遣らずでした。

4 年間の女学生生活も終わり、私は補習科へ進み、1 年間は教師の為の勉強はとても充実したものでした。小学校から国民学校に替り、無試験で教員免許が頂けると思っていたのが、急に道庁からの試験検定となり、慌てて勉強し、昭和 17 年春高盛小学校に赴任しました。庁立高女の卒業生は、プライドは皆さん持っていて、何処にいても本領を発揮したと思います。函中の生徒は口々に庁立高女は近づけないと云っていたそうです。

33 回生以後の後輩は戦時中になり、勤労動員があり、英語はオミット、修学旅行はなし、制服もセーラーでなかつたとの事、又肺結核にな

り学業半ばで亡くなつた方も随分多かつた様に思います。現代は便利な物が出回り、良薬が開発され、残つた私達は長生きの恩恵を受けて居りますが、若い頃を振り返ると、すずらん摘みや大沼遠足、スキー行軍(五稜郭裏門より香雪園まで)と不自由ながらもたのしい青春時代、自然を満喫した様に思います。

「校訓」

- 一、清く優しく強くあれ。
- 一、質素勤勉真剣なれ。
- 一、礼儀正しく上品なれ。
- 一、思慮判断を謬らず言動は最も慎むべし。

真面目に守って今日まで歩んできたように思います

未亡人になられた方も又恋人や許嫁を戦争で亡くされた方もいらつしやると思いますが、国の為の犠牲なのか、国の為になつたのか疑問が残る時代を生きて来ました。人生最後のたのしみをしたと思う此の頃です。この原稿を書くにあたって同期の宮島ひろさんと記憶を辿り認めました。

西高の伝統を誇りに思い、卒業生の皆様頑張ってください。

(米寿を迎えた 33 回生より)  
\* \* \*

『生き生きとして勇ましく』

高女 38 回生 小西弥生

私は小さい時から母に「この子が

男であつたらよかつたのに」と言われる程、かなり活発で向こう見ずの子であつたらしい。

年の離れている兄、そして 3 人姉妹の真ん中、次女としての居心地が良く、まわりを気にせず、自分の世界でのびのびと暮らしてきたように思う。

高女に入学した年の冬、体育の松村俊三郎先生に「スキーをやってみないか」と声をかけられ、指導を受け、校内の協議に出るようになった。順位は良くなかつたが、先生は「藤倉さんは強引だなあ」といつも笑つていらした。

2 年生の冬、札幌で北海道大会があり、先生に引率されてスキー用具とお米を持って札幌に向かつた。円山公園のそばの旅館に泊まり、翌日藻岩山の頂上からの滑降、そして大回転と出場はしたものの、札幌勢の強さにはとても敵わず、大回転が 54 位、滑降にいたつてはもつと下位だつたと記憶している。

卒業後もスキーは続けていたが、結婚して子供も生れ、主人が東京本社に戻ることに、新しい環境の中で子育てや主婦としての雑事に追われいつしかスキーのことを思い出すことも無くなつていった。

そんな 55 歳、11 月の或る日、何気なく手にした市政だよりに、市民スキー教室の知らせがあり、胸が高鳴り、このチャンス逃さずもう 1 度スキーに取り組んでみたいと蔵王で行なわれるスキー教室に入っ

た。

初日クラス分けの日、直滑降で滑り降りた私に振り分けられたクラスは、2 級を持っていて 1 級を受験する上級クラスで、我ながら驚いた。

クラスでは私が一番年上で、私の子供のような年齢の男女合わせて 14 名が先生と一緒に行動する。28 年ぶりにウェアを着てゴーグルをつけると皆との違和感もなく生れて初めてのリフトに乗り、早朝から暮れて真つ暗になる迄ゲレンデで滑ることのみに熱中する毎日がとても楽しく幸せだつた。

最終日は 5 級から 1 級までのバジテストになつている。普通は 3 級のバジを持っていないと 2 級は受けられない規則だが、「特別に受けさせてあげるからやつてごらん」と先生に云われ、駄目元と滑つたが、幸運にも 2 級が受かり、これで胸を張って 1 級にトライできる嬉しかった。



それからは欲が出て、60 歳までには 1 級をとりたいたいと毎年蔵王の教室に通い念願叶つて 59 歳で夢に見た全日本スキー連盟 1 級の白いバジを手にし、川崎スキークラブに入会した。スキー仲間もふえて、東京のクラブの人たちと競技会にも出て優勝のトロフィーもいくつか手にし、カナディアンロッキー、アメリカンロッキーを滑り降り、ウイスラー、ヘブリーバー、ツェルマツト、サンモリツツと外国のスキー場を滑り、手の骨や足の骨を折りながら、冬はワクワクして心躍る季節だつた。

64 歳の時、義母が転び背骨の圧迫骨折で入院、私もスキーどころではなく、介護に専念する事になつた。しかし義母を看取つたら又スキーをしたいとの想いが強く、筋力だけは衰えさせないよう何かをせねばとあせつていた頃、自由が丘で初心者みみのソシアルダンスサークルが会員募集している事を知り入会、ダンスにはまり込んで行く事になる。

サークルも楽しいけれど満足できず、もう少し極めてみたい気持ちになつて 70 歳で A 級ライセンスの先生の個人レッスンを受けることになつた。先生は私の息子より年齢は若い、尊敬するダンスの師であり、信頼する整体師でもある。

「体の歪みを直して正しい姿勢を保つて運動出来る体で踊れば、内臓も定位置に定まって健康になり腰



約40年前の西高

一昨年の7月にはニューオータニでプロ、アマミックスコンペのストロフオックストロットの部で先生と踊り賞状を頂き、昨年7月は先生がスタジオを自由が丘に移してから10周年に当たり、御祝に同じくニューオータニでワルツのデモンストレーションをした。



もひざも痛くならない」と先生の持論である。その通りなので日々努力していかねばならないと思っている。先生に教わってから12年、未だに姿勢を直され「左の肋骨の上から2番目を膨らませて。肩甲骨を意識して。インナーマッスルが弱い。最初から最後迄流れを切らさないで。集中して。」などなど注意されながらレッスンを受けている。

### 回生だより



#### (3回生) 猛吹雪の函館からも参加

昨年11月27日、同期会の開催場所の芝浦の料亭「牡丹」は、6年前にも利用した所で、高級感あり好評でしたので、またここにしました。当日の朝、函館は猛吹雪だったので、函館の人が来れるかどうか懸念しましたが無事到着したのでほっとしました。その他、帯広や金沢や静岡の人も参加し、全部で17人になりました。

12時から3時まで、美味な料理を味わいながら、以前の写真を見せあつて思い出にふけったり、函館の様子を聞いたり、急病で救急車で運ばれ三途の川を見た人の話に耳を傾けたり、歓談に終始しました。

二次会はほとバスです。晴れていたので、夕日に輝く富士山がきれいに見えました。三次会はカラオケでした。

女性5人は八重洲のホテルに宿泊しました。深夜までしゃべっていたことでしょう。



(徳田安正 記)

#### (10回生) 同期会で美味しい「赤かぶ」

今年2回目の同期会を11月28日にニュートーキョー本店、「桃杏楼」で開催し、14名が集まった。例年、この時期に集まるのは、12月に入れば忘年会シーズンになり予定が重なるだけでなく、加野夫妻の共同作業による「赤かぶ」の美味しい漬物が食べられなくなるからである。

各人の近況報告があったが、今回の参加者は総じて健康で大病を患



(福井達郎 記)

ったという報告は無かった。印象に残った報告として、塩野七生著「ローマの物語」に感化され、ローマ帝国の跡地を自分の目で検証して約10年、地中海アフリカ諸国の検証をすれば一応終了するというアカデミックな話があった。最後に小嶋同窓会東京支部顧問から「来年10月に函館で2年に一度の同期会(珊瑚会)があり、皆さん参加されるだろうが、5月18日にはつゝじヶ丘同窓会東京支部の総会があるので、こちらにも是非、出席するように」という話で会を締め

#### (11回生) 東京山麓会古祝願末

はい、そうなんですよ。注文頂

いて会場の正面に掛けた「函館西高  
東京山麓会古希祝い」と書いた垂れ  
幕の代金 3 万円を請求し忘れたの  
です。函館の西高の方々をよくこの  
ニュートーカーキーを使ってくれま  
す。前の社長が函館の西高出身だと  
か聞いた事があります。

今回使って頂いた西高の 11 回生  
とかの幹事数名は大凡 2 年ごとに  
ここで同期会を開いて頂いている  
のでよく存じ上げております。他  
に使って頂く年代の方々同様に、と  
ても知的で上品な方々で、請求忘れ  
をそのままに放置しておく方々と  
は思えません。

今回の集まりは、最初はいつもの  
通り 40 名程とお伺いしたのですが  
開催日の 2 週間ほど前には 50 名位  
に増えるかもと連絡あった上に最  
終確認の 1 週間前に 60 名以上にな  
ると言うのです。予約人数が 50% も  
増えるのは私もあまり経験した事  
が無いのですが当日には何と 63 名  
の参加者と言われ準備に追われた  
ほどです。

東京山麓会と言いながら、挨拶を  
小耳にする限りでは東京だけでな  
く関西・中部から東北、当然北海道  
も含めて集まってきたようですね。  
前の時はなんかアフリカのケニ  
ヤから参加に駆け付けたなんて話  
を記憶しております。それにしても  
今から 3 万円請求できないかなあ  
〜。

準備打合せの時に二次会でつま  
みの様なものを持ちこんでよいか

どうか聞かれまして、どうせピーナ  
ッツやチーズなどを持って来られ  
るんだらうと「あまり派手にやって  
もらわなければいいですよ。」と言  
ったのですが当日覗いてみてびっ  
くりでした。



いくら函館とは言え、身が透き通  
った正に本場の細切りイカソーメ  
ンがどどくと大皿に盛られテー  
ブルでさんさんと輝いているでは  
ありませんか？それだけではな  
いのです。アン肝です！！それも  
缶詰やスーパード売っている物と

は全く違った全体に柔らかそうで  
光沢があつて中央部がピンクに輝  
いて恐らく口に入れればとろりと  
溶けそうなフォアグラを思わせる  
ようなものなのです。

その日の朝に函館の市場で購入  
した真つ赤なスルメイカを昼のフ  
ライトで羽田に着いた参加者が氷  
詰め運び夕刻にイカソーメンに  
して持ってきたものだそうで、あん  
肝は参加者の中に築地市場の専門  
卸商の女将さんがいて、朝入荷した  
アンコウを捌いて一番良い肝を軽  
くゆでて持って来たそうです。

何時もイタリアンを主とした料  
理を扱っている私としてはあのア  
ン肝一切れ口にしたかったですね。  
持ち込みの話と言うと、お酒の持ち  
込みは問題ありませんので沢山ど  
うぞとも申し上げたのです。

飲み放題で 60 名でがぼがぼ呑ま  
れてしまつては当店の経費は上が  
るばかりで、持ちこみがあつた方が  
当方から用意する分が減るので有  
難いのです。ところがお酒の方の持  
ち込みは一切なく二次会でも正に  
北海道を思い出させる懐かしいお  
つまみが出て飲むペースが落ちる  
事もなく酒は出しても出してもの  
感じでした。

知的で上品でも私には儲けの少  
ない喜ばしい客では無かつたです  
ねえ〜。

入れ替わり勝手な挨拶が続いて  
おりましたが、次の会は北海道新幹  
線が開通した時が良かったとか、70 歳

の自分にご褒美だとか、行き平均時  
速 40 キロ帰り平均時速 60 キロで走  
った場合の全体平均速度は 50 キロ  
ではないとか、色々面白そうな話が  
出ていたようです。

この 70 歳にもなる元北国の純朴  
なる高校生であつた爺さん婆さん  
の目の輝きとエネルギーは何処か  
ら来るのか驚きでした。それにし  
ても 3 万円気付いて支払つて頂  
戴！！！！

平成 24 年 11 月 17 日  
副店長 K のつぶやき！

(小野晋一 記)

### (17 回生)

#### 喫茶店で延長戦

東京支部同窓会の無い本年は、春  
に他支部同期との 1 泊旅行同期会  
を開催し、秋(11月25日)に東京支  
部同期だけの開催を実施しました。  
3 連休の最終日にもかかわらず、  
12 名で開催できました。

ほとんどの人は半年振りの再会  
でしたが、函館の同期生浦袖君の急  
死もあり静かに始まりました。しか  
し時間とともにいつもの賑わいと  
なり、楽しい時間をすごしました。  
団塊世代の我々もついに年金満額  
受け取りの歳となり、老後のこと孫  
のこと、欠席者の近況報告といつも  
の話でしたが、それでも話足らず、  
喫茶店での延長戦と満足の半日を  
過ごしました。



### 50 歳からのイクメン

#### 中川喜久則(31 回生)



その昔、織田信長は“人間 50 年、下の内をくら

ぶれば夢幻のごとくなり。一度生を得て滅せぬ者のあるべきか”と“敦盛”を舞ったそうですが、現代は 50 歳といってもまだまだ人生半ばです。

さて、この度、私事ではありますが、長年待ち望んだ子供が昨年、50 歳にして授かることができ、幸せを実感しております。名前は函館五稜郭の稜に太で“りょうた”と名付けました。

私と同年代の人には、すでに孫がいる人もいますが、若い父母に負けない様、函館魂で頑張つてイクメンしたいと思っております。

先日、函館の実家に私が赤ん坊の頃着ていた 50 年前の着物がきれいな状態で残っていて子供に着せてみました(\*デザインはその時代のものですが)。親子 2 代でこの着物を



着たのかと思うと感慨深く、改めて親の愛情を感じまし

た。

今は物があふれ、使い捨ての時代で 50 年も服を大切にしまっておくことなどないでしょうが、この着物はいつの日か稜太に子供が出来た時に渡せるよう大切に保管していきたいと思えます。

私の今後の不安といえば、子供の成長と共に訪れる運動会などの行事であります。他の父兄との年齢差は歴然、見た目若作りを心掛けおりますが、中身は 50 のオッサンです。老眼、50 肩・・・しかし、かわいい子供のために気力体力衰えない様、気合い入れていきます。

つゝじヶ丘同窓会東京支部の中では、若輩者でありますので、今後とも、諸先輩のご指導・鞭撻の程、宜しくお願い致します。

### 戦時中に壁を黒く塗った校舎

#### 彌生小学校の思い出

#### 藤川巖(20 回生)

私は北海道釧路市で昭和 27 年 2 月に生まれ、小学校 2 年生の時に函館市立弥生小学校に転校しました。母と二人で転校手続きをした日、明日から通うことになる教室に一人でいて淋しくなり、泣いたことを思い出しました。

学校は外壁のベージュの上から黒く塗られていて、汚れているよう

に見えました。後日、それは戦時中に空襲されないように黒く塗ったのだということを知りました。廊下にはこの学校で代用教員を務めたことがある石川啄木の写真が飾られていましたが、妙に暗い感じでした。

“東海の小島の磯の白砂に我泣き濡れて蟹と戯むる”  
『悲しき玩具』や『一握の砂』などの歌集を詠んだ詩人です。

毎日、元町のロープウェイ発着所のそばにあった家から海や坂道を横目に見ながら、学校まで 20 分、30 分のんびり歩いて通学していました。静かでのどかな光景でした。旧い街らしく、カトリック教会、ロシア正教の教会、東本願寺などバラエティに富んだ寺院があり、レイモンさんというハムを作っているドイツ人がいて、亀井勝一郎の家もありました。今思えば、豊かな自然と文化的な環境に囲まれて育ったのだと思えます。

小学生の頃、クラスメートの宮村君と何度も函館山に登ったことも思い出します。山頂には防空壕があり、本州と北海道の動植物の分布境界線といわれるブラキストン線もあります。また、山頂を左に行くと広く開けた千畳敷があり、草に寝ころびながら津軽海峡を眺めました。夕焼けがとてもきれいでした。大きな石をカウチにみたくて、その石に寄りかかりながらおにぎりやソーセージ、果物などを食べたりました。

我々は戦後のベビーブーマーの最後の世代ですが、弥生小学校は一体何人の児童を送り出したのでしょうか。愛宕中学校が狭くて、弥生小学校の教室を分校として使っていたことも楽しい思い出です。

しかし、平成 21 年、我々が通った昭和 15 年に建てられた弥生小学校旧校舎は老朽化のために解体されてしまったと聞きます。卒業生の一入としてとても残念な気持ちでしたが、昨年には新しい校舎が落成し、4 月には新一年生の入学式が行なわれたそうです。

あれから 50 年、私は昨年 4 月、仕事中に脳梗塞を発症して 7 か月余り入院生活を送りました。現在もリハビリの日々です。函館には、もう何年も帰郷したことがありません。元気になったらもう一度、弥生小学校や愛宕中学校、函館西高の建ち並ぶ元町界隈を、献身的に看病してくれた妻と二人で歩いてみたいと思っております。

### 単身赴任 6 年生のひとりごと

#### 野口卓史(27 回生)

私は、今は函館市となりましたが当時の南茅部町の白尻中から西高に入りました。白尻中には 1 年しか在席せず、その前は当時の戸井町に 4 年、汐首小、潮光中を経ての西高入学でした。

南茅部、戸井も共に漁師町で、いずれも夏の昆布漁がメインの産物でしたので、昆布漁が始まると男子が漁の手伝いで登校しないのに驚きました。

入学後は、現在は北斗市になりましたが、当時の上磯町の茂辺地の母方の祖父母のところに居候し、西高へは汽車通でした。

茂辺地の家は服屋に貸して改装したため、二間しかなく、しかもトイレは外、明かりは無く、夜は懐中電灯がたよりでした。後には一部屋増築してもらい、トイレも中に作りましたので、助かりましたが、結構今考えると厳しい生活してましたですね。風呂は銭湯でしたが、冬は帰るまでに髪が凍ってた記憶があります。

朝は 6 時 48 分発、函館駅には、7 時半過ぎに着き、そこからは歩いて西高まで通いました。やはり冬は大変だった思いがあります。

教室に着いてもまだストーブに火が入っておらず、少し経つと用務員さんが、火を着けに来ていましたね。

汽車に乗り遅れて、遅刻は 3 年間で五回ほど。帰りは卓球部の練習が終わって 9 時台の汽車で帰るのが多かったですね。汽車の中で寝てしまつて、当別まで行つてしまい、歩いて帰つたことも。釜谷まで行つた時はさすがに、だいぶ待つて折返しの汽車で帰りましたね。

そういえば、冬の帰りの八幡坂でこけて、そのまま 10 メートルぐらい滑っていつて恥ずかしい思いをしたこともありました。

部活の卓球は参加することに意義がある方で、下手くそのままでしたが、今でもまだ週一でやつております。老化防止にもいいですよ。またうちの学年は入部人数も多く、最初の頃は、ランニングとか球拾いばかりだったような気がします。

1 年は 3 組で担任は松岡先生、2 年は 1 組田村先生、3 年は 4 組大関先生でした。

2 年生の時が一番印象に残っています。ラグビー部の市戸という奴と同じクラスになり、だいぶアホやりました。文化祭では、クラスで映画を出しました。3 年生も映画やつていたクラスがあり、そちらはストーリー映画でしたが、こちらはショートコントのようなものでした。やつている方は、可笑しくて腹抱えながらやつてましたが、スクリーンで見ると面白くなくて受けなかったり、イマイチと思つていたのが受けたりしましたね。出演もしましたが、いい記念です。この時は暗幕に理科室のカーテン黙つて外して使つたりして、コロンボ(担任の田村先生です)から 1 日 4 回も怒られました。他の 3 回は記憶が定かではありません。田村先生はお洒落に蝶ネクタイでした。

生徒会選挙の応援演説もその市戸とやり、お笑いの演説をしたなら、あとで梅田先生から、ふざけるなと怒られました。

年度末には、予餞会の司会も黒田和子さん(今は同期生の曾我君と結婚し、札幌におり 3 人のお孫さんもおります)とやらせて頂き、楽しくいい思い出になっています。確かにこの司会の打ち合わせ・練習の時騒がしいと、これまた梅田先生に怒られた記憶があります。ちなみに梅田先生は牛乳瓶の底のような眼鏡をかけておられました。

小学校から大学まで同じ校舎で過ごしたのは、西高だけです。校舎はまだ古い校舎の時です。私の母も立高女でしたので、同じ校舎で感慨深いものがあります(実際には女子高 1 回生のようでした)。

同窓生の方とは、年代が違つても、同じ高校出身というだけで親近感もありますし、普通にお話も出来るのは不思議ですね。もう 50 歳を過ぎましたが、同窓会に出てもペーパーで、皆様の矍鑠としたお姿を拝見すると、逆に元気を頂いているような気がします。

関東でも同期会を開催していますが、中々みなさん、子育て、介護あるいは、仕事で忙しい年代となり、中々参加人数が増えないのが、悩みですね。でも継続することが、一番と思つておりますので、引き続き活動を続けていきたいと考えております。

全体の同期会は、前回平成 15 年に約百名の出席にて函館にて開催し、5 年後に次回を予定と発表もしましたが、丁度その年から単身赴任になり、一時的に今は、関東の住人となつてしまいました。が、そろそろ次を考えなければいけないと思つている次第です。久しぶりに同期の元気な顔見たいですね。皆様も元気で過ごし、また会える日を楽しみに、単身生活頑張ります。皆様も健康で、ご活躍下さいませ様に。



## 函館とイカとジャックス

### 9 回生 今 修司(9 回生)

ジャックスというカード会社の本社所在地が実は函館であることをご存じだろうか。

そのため本部機能が東京に移った今でも年一回の株主総会は函館で行なっている。現在は若松町に函館支店があるが、末広町にある「函館市文学館」はジャックスの旧本社ビルである（平成元年に函館市に寄贈）。社として東京本社に掲げている「信為万事本（信を万事の本と為す）」の書は西高で教鞭をとられていた春日浩洞先生の手になるものである。ちなみに座右の銘は「着々寸心洋々万里」。

昭和 34 年、私が入社した時は「デパート信用販売」といつていたが 6 月には「北日本信用販売」に社名が変わった。銀座通りの梅津商店の向かいの「小野商店」に間借りしていた。昭和 28 年朝日新聞「デパートにも月賦時代？」の記事を読み、翌 29 年 6 月に役員 5 人で会社を立ち上げたが、洞爺丸台風で事務所が吹き飛んだので、ここに移ったとのこと。事業は、デパートでも商品を分割で買えるチケット販売で今日クレジットカードの原型となるものであった。給料は日給 2 百円、初めて買った背広は 1 万 6 千円で月 2 千円の 8 回払いであった。お世話になったのは棒二森屋・丸井デパート始め十字街・大門の株主と加盟店で私の記憶では、第一印刷、大坂谷証券、小熊水産、熊沢洋品店、小池カレール、祐ずし等の株主様。

営業支援は高木呉服店、竹田洋品店、水晶堂、赤のれん、ヤマコ楽器、マリイチ木村、ニールック、丸山靴店、カネツ渡辺時計店、カネワ渡辺時計店、北斗電機さん等の加盟店兼株主

さん達であった。なにしろ立替・分割回収なので、事業が順調に伸びれば伸びるほどお金が足りない、売り上げを増す度に増資を皆さんにお願いした。仙台や釧路にいち早く進出はしたが、チケット事業だけでは不安定で洗濯機、ミキサー、白黒テレビ、アイロン、自転車、バイク、薪炭、石炭を月賦で販売した。屋根に上ってテレビのアンテナをつけたのも懐かしい。

創業社長は、函館ドック常務を退任後複数の会社経営を任された教養人でロータリーアンでもあった。自ら英文タイプを打ち、海外ともやり取りをしておられた。当時常務のお二人は 90 才を過ぎた現在も頭はシャープ、口は達者で行けば必ず「君たち若い人が……と気合が入る。たしかに現在 72 才の私も 20 年下だし、新人と常務さんだったから、何とも仕方がない。とにかく 40 年の在社中この 3 人には数多くのことを教えていただいた。

社長は私が 26 才で労働組合委員長として臨んだ団交で「これで当社に背骨が入った」と認めてくれた。「経営は難しいものではないよ、入ることを計って入った後に出せば良いんだよ、恰好をつけて入る前に出さからいけんだよ」。そしてリーダーは「大事を考え小事を指摘して継続して貰えば良いんだよ」とも。

今も健在のお二人には、「毎朝新聞を読め、目先だけでなく 10 年先を」と諭された。何しろ起業したばかりの 40 才前だけに迫力があつた。以来新聞が私の日課であり友となつた。普通

高校出の私にとつて、経済知識だけでなく、生き方を数多く学んだように思う。先達 3 人からは数多く叱れたが、負けずに言い返しもした。役職・年令にとらわれず聞き入れてくれた。お互い函館弁なので周囲には「喧嘩している」と思われていたらしい。楽しい青春であった。

会社を運営する上で参考にしたのは、松下幸之助や本田・ソニーもあつたし、ドラッカーもあつたが、なにより「函館のイカ・水産業の興亡」がお手本であった。イカは活きの良いものだけを売り続けることはできない。荒れた日には高いでぎず、採り過ぎれば安くなる、だからイカの沖漬やスルメ等の二次、三次加工とのバランスが必要だと成功している函館の水産業を参考にさせて貰った。目先だけでなく将来を見越した勇壮な夢を語り合い、経営理念と連動した戦略戦術や部門毎と長短のバランスはどうあるべきか夜遅くまで熱が入った。

原点は、加盟店さんと一緒に考えてお客様のための商品を創り、信を本としてクレジットでつなぐ仕事。こんなことを通して、人の温かさとながることの楽しさをいただいた。

函館を離れて 40 年、年一度は、同期達が集まる会を開いてくれる。その度に十字街から、函館山を見ながら西高付近をうろつく。テレビで函館が放映されると嬉しくなって旧友に電話し、知人には良い処だと伝え、青函

連絡船がなくなる時には往復し、JR の旅でも大間からの船旅を楽しんでいる。関東でも 40 才を過ぎた頃から、同期が年数回集まり、年一回の旅行も 20 年ほど続いている。

開港以来外国の文化を採りいれ、生物起源の海からの恵みを受けて育った函館。そこで生を享け育った環境・遺伝子「函館 DNA」を、親兄弟・友人だけでなく会社でも無意識の内に頂戴して過ごしてこられたことに感謝している。今年も古希を過ぎた爺さん婆さんが、声を張り上げ「真理を求めて、共に立てよ」かな。

## 被災地福島にて

### 福田一郎（14 回生）

季節はめぐりて春 3 月。あの 3・11 大震災から 2 年が経ち、ここ福島県郡山市でも例年より少し早い桜開花の便りを聞いている。昨日には、時の総理が原発被災地に入り、また郡山を視察された。津波によるガレキは撤去されても、原発事故による地域の復興は進んでいないと感想を述べた、と報道にあった。

福島県産の、ももやコメといった農産物に対する風評被害の実態は、風化することがなく被害は大きい。自然や歴史ある観光資源も落ち込んでおり、大河ドラマの効果も明るい話題とはいえ部分的である。未だに、仮設住

宅での生活を強いられる 8 町村の住民が多数いる。県民人口は、若い世代を中心に 15 万人弱が減少し、他県に避難している。

しかし悲観的なことだけではない。流失した神社の再興を前に、伝統の舞を復活させた子供たち、介護の資格を取り県内に残ると決めた高校生、地元の土でしか相馬焼きを継承できないと新たな窯を作る世代など等、未来を見つめ努力している多くの人々がいる。

さて話は変わり、大河ドラマの影響力を実感している。八重ゆかりの会津観光は沸騰し、今から駐車場不足と渋滞が問題となっている。便乗し、八重のすき焼きラーメンも出た。これを読まれる頃には、八重の舞台も京都に動いているはずだが、会津と函館の接点をご存知か。大町西浜岸壁に新島裏脱出記念碑があり、「男児志を決して千里を駆す……」とある。彼は、2021 年 6 月 24 日に小舟でアメリカカ船に密航し、10 年後に帰国して同志社を興した。もう一つは、かの新撰組副長土方歳三である。京都鳥羽伏見から会津、箱館と転戦し、35 才の生涯を北の地で終えた。

その詳しい物語「箱館戦争」を東京有楽町の書店で見つけ、数年して郡山に赴任し経済人の勉強会に初参加、作家星亮一がその会の幹事長であった。またその年、福島民友新聞主催の「戊辰戦争 140 周年記念シンポジウム」が会津で開催され、その後の打上げで 7 人

の“殿様”にご挨拶した。徳川恒孝氏 18 代当主(元日本郵船副社長、徳川財団理事長)らと挨拶、一番若手と思われる 18 代伊達泰宗氏の名刺をいただいた。氏名のみで裏に肩書きもない。思わず、伊達様、ご本業はと聞くと、ムツとして“当主です”と一言。後で知ったが、会場に伊達家臣団が 30 名ほど参加していたとか。歴史は生きているのだ。我々の世代なら“先の戦争”というトボナム戦争を思うが、会津の方は戊辰戦争と云うそう。この話には上があり、京都の方は“応仁の乱”と答えると言うがホントか？

福島県は、北海道、岩手に次いで広い県である。普段は、浜・なか・会津と 3 地方に分けるが、前知事は県内を 7 地方に分け平等に施策をした。その結果、例えばスポーツ施設でも、ごく普通の規模のものが県内各所に出来たが、オールスター戦や世界大会を開催する規模の施設がない。また福島は東京から 1 時間半の距離だが、長野の軽井沢ほどの避暑地とも言えない。裏磐梯や猪苗代、奥会津、あぶくま洞などの自然や温泉地は、全国的にも指折りのもの。しかし、四季を通じた観光客の動員が出来ていない。PR がヘタとも言えるが、注目に値するものがある。今年の夏の休暇は、是非“うつくしま・福島”へおいでいただきたい。

私もあと 4 年 70 才まではここ福島で汗を流すことにした。この度の未曾有の大災害と人災というべき原発事故、その真の収束に向け言われぬ努力を続けている人がある。そうした情報

発信も含め、ラジオの世界で安全・安心に寄与することができれば本望である。

(エフエム福島代表取締役)

## 同期生への総会欠席メッセージ

### 津澤和範(14 回生)

(以下の文章は、総会の案内に対する欠席のメッセージとしてメールで送られてきたものですが、本人の了解を得て投稿として取り扱わせて頂きました)

ことのほか寒かった思いをした冬を凌いで、待ち遠しかった春がはじまりましたね、お変わりなくお過ごしのご様子で良かったです。

これから佐々木堀内の 14 回生コンビで同窓会を切り盛りして行くことになったとのこと。大任ですが、どうかくれぐれもお身体大切に、更なる会の発展の舵取りをよろしく願います。本会の運営・発展のために、大したことは出来ませんが何時でもお声かけを。

ところで 5 月の総会ですが、あいにく丁度この時(17、19 日)は奄美大島に出張して、マグロ畜養施設見学の前定が入っています。せっかくご案内いただいたのにすみません。

マグロの完全養殖(産卵・孵化(成魚まで))を軌道に乗せることは、業界の悲願でもあり喫緊の課題でもあります。

聞くところによりまずと近大が一步先行していますが、各研究機関と大手水産会社も懸命にその技術確立に取り組んでいる最中で、今回その最前線をつぶさに見学して、様々な意見を交わして来るつもりです。マグロの次はによるによる鰻の出番のはずで、そのうち蒲焼が庶民の強い味方になってくれる？

以前も話したと思いますが、私も今この時を人生最後の活動期と捉えて、私なりに精一杯刻んでいます。時の流れは思いのほか早く、今年だってもう 3 月下旬でほぼ 1 年の 4 分の 1 を消化、昨年のことは言うに及ばず、先月も先週も昨日もさつきも今も、どんどん過去へ過去へと押し流されているような感じがしています。

私は、過去を懐かしく振り返る時は年老いた自分が佇んでいるイメージだと思っていますが、この先に思いを馳せる時は、一番若い自分が風上に向かってすすくと立っている姿を想像し、自らを奮い立たせています。

先日、青森の寺嶋君から詩吟全国大会の CD が送られてきました。彼は社会人になって本格的に練習を始め、その長い地道な努力が実を結び成果が認められた今では、青森県の重鎮として後輩の指導育成にも精力的に取り組んでいるようで、素晴らしいことだと常々思っています。

CD を聞いてみて、朗々と吟ずるそ

の底流に息づく日本の歴史文化に触れた思いがしました。私の選んだ職業環境は、ずっと海外を指向していましたので、このたび、このCDを耳にしてハッと気付かされた感じ

です。  
若い世代を軸に、世を挙げて英語だ英語だと焦り騒いでいますが、基本はまず母国の歴史と文化だろう・・・と、改めて考えさせられました。

最近になって、私の生まれた昭和20年というのは、どんな年だったのか?・・・を知りたくて、同じ「昭和20年」というタイトルの、元旦から日を追って克明に書き込まれた本を読み進めています。夜勤を終えた動員女学生が、朝の食堂で味噌汁椀の蓋の上に小さな餅がポツンと乗っているのを見て、ああ今日は元旦なんだ・・・と思い知らされたところから始まっています。

米軍はフィリピンを進撃中であり、特攻で若い命が散り始め、戦争を始めた重臣どもが『何故この戦争を始めてしまったのか・・・』を痛烈に反省し始めていた時期です。

B 29 による爆撃の恐怖にさらされ、逃げ場もなく情報もなく、この先の見通しも全く立たず心身ともに追い込まれていた世相のもと、我々の両親はどのような気持ちで我々を産み、懸命に育ててくれたのかを想像しますと・・・胸に熱いものが去来してきます。粗末にできませんね、親から貰ったこのいのち。

毎日のように刺した、刺された、亡くなった・・・と、殺伐としたニュースが氾濫していますが、せめて周囲だけは手堅く、しかし明るく固めていきたいものです。

残念ながらも何があっても不思議ではないし、何を始めるにも早すぎるといふものはない年代に入り、ついこの間還暦を祝ったように思います、もう古希が視野に入ってきました。

身体の変調を医師に訴えると、即癌を疑われ、そのたびにハラハラドキドキの諸検査も致し方なく、長生きするためいろいろな「昇格試験」を受けているが如き状況です。ヒアルロンサンが効くとなると一斉に走りだし、コラーゲンも効き目ありと耳にすれば落ち着いておれず、いやはや忙しい年代でもありません。

ま、日々健康管理にはのんびりと抜かりなく、もう一花咲かせましよう。

そうそう・・・、「毎日25gほどのアーモンドを3回に分けて食べると肌が若返る」んだそうですよ。教えてくれた知人は剃刀負けをしなくなつたとか。興味が湧けばお試しあれ。

それでは、心に残る総会となりますよう・・・。

(平成 25 年 3 月 20 日記)

☆ ☆ ☆

## 佐藤泰志の生涯をたどった記録映画「書くことの重さ」

### 今秋、全国公開へ

井田ゆき子(20 回生)

我らが函館西高出身の作家・佐藤泰志(18 回生)の記録映画『書くことの重さ』作家 佐藤泰志が今年3月に完成した。今秋から全国の映画館で公開の予定だ。

監督は苫小牧出身の稲塚秀孝さん。広島と長崎で2度被爆した山口彊さんを追った『二重被爆』語り部・山口彊の遺言や福島原発事故をテーマにした『フクシマ2011』などのドキュメンタリー映画で高い評価を受けている映像作家だ。



稲塚秀孝監督

稲塚さんが佐藤泰志の存在を知ったのは、苫小牧東高校2年だった46年前だという。北海道新聞社主催『有島武郎青少年文芸賞』に佳作入選したが、この時の優秀賞が1学年上の佐藤泰志だった。しかも、前年に続いて2度の優秀賞受賞だった。

「その後、雑誌に掲載された泰志さんの作品を読んで、こんなにすごい文

章を書く高校生がいるのかと、その才能に惚れました」

中央大学に進んだ稲塚さんは文芸部に入るが、作家への夢は早々と挫折。その頃、同人誌で佐藤泰志の作品を読み、手紙を出して返事をもらったこともあったという。

大学卒業後、1973年にテレビ番組製作会社『テレビマンユニオン』に入社。『遠くへ行きたい』や『オーケストラがやって来た』などの人気番組を手がけ、1985年に独立して会社を設立した。その後は、数々のテレビドキュメンタリー番組や記録映画の制作にあたり続けた。

### 命を削って書いた作品の重さ

3年前の2010年、佐藤泰志の遺作『海安市叙景』が映画化された。これをきっかけに芥川賞候補になった『きみの鳥はうたえる』などの作品が次々と文庫化されて復刊。再評価が高まっている。

「彼の作品を改めて読み直し、ひたむきに文学に取り組んだ佐藤泰志の生涯を通して、書くことの重さを描きたいと思った。同時に、私自身の泰志さんへの思いを形にしたいと考えたのです」(稲塚さん)

佐藤泰志は1948年函館生まれ。西高在学中から小説を書き始め、大学卒業後もアルバイトをしながら執筆活動を続けた。芥川賞候補となること5度を数えたが、受賞叶わず、1990年に自死している。

映画『海炭市叙景』は、シネマニラ国際映画祭グランプリ、ドービル・アジア映画祭審査員特別賞など数々の映画賞を受賞。DVDやCDも発売されている。

### 函館西高でもロケ

映画は第1章から第4章までの4部構成。友人や、生前付き合ひのあった編集者、記者らの証言と、再現ドラマで構成されている。

再現シーンは、泰志役に劇団『無名塾』の新人俳優・村上新悟さん、母親役に歌手の加藤登紀子さんを起用。ふたりの演技に注目したいが、とりわけ加藤さんの「函館のおっかさん」が深く心に残る。また、全編を通じて、ナレーションを俳優の仲代達矢さんが務め、その味わいのある語り口で作品を引き締めている。

興味深いのは、芥川賞選考委員会の模様を再現したシーンだ。

「開高健、丸谷才一、大江健三郎ら選考委員の発言は、すべて当時、文芸春秋誌に掲載された選評を参考にしたものです」(稲塚さん)

今もテレビや新聞のニュースで大きく取り上げられる賞だけに舞台裏を覗き見る面白さもあるが、新人作家の将来を左右する選考会だけに考えさせられる。

函館山をはじめ、函館公園、佐藤泰志が通ったジャズ喫茶、そして母校の函館西高でもロケが行なわれた。

「西高での撮影には安房校長の理解



# 書くことの重さ 作家佐藤泰志

## 函館試写会のお知らせ

映画『海炭市叙景』から3年…  
ついに佐藤泰志のドキュメンタリー映画が出来上がりました  
大勢の函館市の皆さんのご協力をいただきました。  
「厳しい冬と短い夏」、函館の自然、風景をバックに、  
作家佐藤泰志の、書くことの重さ、生きることの重さを描きました。  
是非、ご覧いただきたいと思ひます。

監督：稲塚秀孝

日時：5月23日(木)午後6時30分開演

※開場6時

場所：函館市地域交流まちづくりセンター

問い合わせ先：西堀滋樹 (090) 6219-0368

メール：nisibori@ms7.ncv.ne.jp



定だ。(上のポスター参照)  
一般公開スケジュールは、現時点で、次の上映館が決まっている。

9月28日(土)〜  
函館・シネマアイルス  
10月5日(土)〜  
東京新宿・ケーズシネマ

さらに、札幌・シアターキノ、苫小牧・シネマトーラスなどで順次上映の予定。つゝじヶ丘同窓会東京支部のホームページにも掲載するので、時々確認を。

「この映画を泰志さん本人はどう思うだろうか、そして家族にはどう

見てもらえるだろうか。それが、撮り終えた今の心境です。そして、佐藤泰志が遺した数々の作品とこの世界を、今後も新たな読者が読み継ぎ、語り継ぐことを願っています」(稲塚さん)

同窓生の皆さん、家族や友人を誘って、ぜひ上映館に足を運んでください。

と協力を得て、教室や図書館を舞台に、現役西高生男女8人にもエキストラとして出演してもらったことができた。

西高屋上から眺めた函館港の映像が印象的だと思います」(稲塚さん)

泰志の担任だった長谷川圭作先生(世界史、すでに退職)も出演しており、その証言とともに同窓生には見逃せないシーンとなっている。

函館の自然や風景、佐藤泰志が生

きた時代の函館も描かれているので懐かしさを感じる人も多いはずだ。

### 今秋より全国で上映開始

完成披露試写会は、3月18日に東京・渋谷で開催され、加藤登紀子さんや仲代達矢さんも会場に駆けつけて好評を博した。さらに、5月23日(木)午後6時半から函館・まちづくり交流センター(末広町)で行なわれる予

## 特集 3

## 《故郷函館の研究》

## 石川啄木と函館

佐藤雅英(18 回生)

昭和 35 年 5 月 24 日朝、チリ地震の津波を見るため立待岬へ向かった時、小学生だった私は初めて石川啄木一家の墓を見た。「東海の小島の磯の白砂に われ泣きぬれて蟹とたはむる」の歌が刻まれた墓である。啄木は沢山の歌を詠んだが、その活動拠点は生れ故郷の岩手、北海道、東京であり、その中でも特にわが故郷函館に関する啄木の足跡を記したい。

啄木が 4 度目の函館にやってきたのは、明治 40 年 5 月 5 日である。すぐに函館商工会議所へ勤務、その後弥生小学校の代用教員の職につき、函館日日新聞の編集局に勤め、青柳町 45 番地にあった昔菫社に起居し、雑誌「紅苜蓿」の編集を担当、4 ヶ月の間に 3 度も職を替えた。

8 月 25 日夜、東川町から出火した炎は折からの山背に煽られて、当時の市街地の 3 分の 2 を焼く大火で、学校も新聞社も焼け、危うく宿舍である昔菫社は難を逃れた。

8 月 27 日の日記に「かの夜、余は

凡てを忘れてかの偉大なる火の前に叩頭せむとしたり、一家の危安毫も余がここにあらざりき」とし、「大火は函館にとりて根本的の革命なりき、函館は千百の過去の罪業と共に焼尽して今や新しき建設を要する新時代となりぬ、余は寧ろこれを以って函館のために祝杯をあげむとす」と記してやややけ気味に、この大火によって自分と函館に新しい運命が開けることを望んでいる気配が感じられた。

大火に追われるようにして、9 月 13 日の夜行列車で札幌へ向かった。わずかに 4 ヶ月の函館滞在であったが函館を懐かしむ文章を明治 41 年 1 月 6 日の日記に記している。

「昨夜枕に就いてから魂何時となく遠く飛び、色々な過去の姿が追憶の霞の奥に現れつ消えつとする。函館が恋しかった。実に恋しかった。夜霧深き大森の白浪、露光る谷地頭の朝風、宮崎君吉野君岩崎君、大塚君の太い声も聞きたい。弥生校の、今は焼けはてた職員室も忍ばるる。青柳町という名は、何かしら昔の恋人の名のごとく胸に練り返される。眠ったのは、二度目の金棒の響過ぎて余程経つてから。(原文とおわり) これは小樽で小樽日報社の事務長と喧嘩し、釧路新聞に奉職する少し前に書かれたものである。

昭和 10 年頃の函館市内の小学校で使われた副読本に採録された短歌に「港町とろろと鳴きて輪を描く 鳶を圧せる潮ぐもりかな」がある。

この作品は明治 44 年 4 月 11 日付の「函館日日新聞」に「われ等の歌」の題で載せられている。函館を去ってから 4 年後彼は東京に住んでいた。上京後に作った歌を函館の新聞に載せたことになる。この「われ等の歌」は 6 月 5 日まで 5 回 5 首の掲載が確認されている。これは熱心な石川啄木研究者の調査から発見された。

歌集「一握の砂」にはこのほかにも函館をイメージして詠んだであろうという歌が掲載されている。「いたく錆びしピストル出でぬ砂山の

砂を指もて掘りてありしに」

「砂山の砂に腹這ひ初戀の

いたみを遠くおもひ出づる日」

「潮かをる北の浜辺の砂山の

かの濱薔薇よ今年も咲けるや」

「函館の床屋の弟子をおもひ出でぬ

耳剃らせるがこころよかし」

「わがあとを追いかけて知れる人もなき

邊土に済みし母と妻かな」

「船に酔ひてやさしくなれるいもう

との

眼見ゆ津軽の海を思へば」

「函館の青柳町こそ悲しけれ

友の戀歌矢ぐるまの花」

「しらなみの寄せて騒げる函館の

大森濱に思ひしこども」

「函館の臥牛の山の半腹の

碑の漢詩もなかな忘れぬ」

「呟啣み夜汽車の窓の別れたる

別れが今は物足りぬかな」

等々であり、いやもつとあるかもしれないが私の能力では限界である。

啄木の才能は、盛岡中学で萌芽した。文学好きの級友たちから盛んに知識を吸収しながら、短歌と詩の制作や文芸誌の編集・発行にのめり込んで行く。与謝野鉄幹が始めた雑誌「明星」の社友となつて忽ち認められた。明治 38 年 20 歳の時、詩集「あこがれ」を出版した。自分の才能に自信を持ち、将来を明るく展望する青年だった。



石川啄木の墓

彼は短い生涯に実に良く学んだ。彼の語彙の豊富さが、彼の広く深い勉強の一つの証明である。最初陸軍軍人を、次いで海軍軍人を志したが、級友の及川古志郎(後の海軍大将、海軍大臣、軍令部総長)に文学の面白さを教わって感化されるところりと宗旨替えをした。

生涯の最後に社会主義に目覚め、幸徳秋水の事件に関して詳しく調べ、細かいノートを取ったことが記録に残る。よしんば彼が短歌やらなかったとしても、知識人としては素晴らしい足跡を残したと思う。

自尊心が強く、文学的センスは抜群であつたが、経済的自立は亡くなるまでなかつた。しかし多くの人々が啄木を支援した。その中でも与謝野夫妻は啄木の死後20年経つた昭和6年に来函し、その時残した歌稿から一首づつ取って、立待岬近くに歌碑がある。

「浜菊を郁雨が引きて根に添ふる

立待岬の岩かげの土 鉄幹」

「啄木の草稿岡田先生の

顔も忘れじ函館のこと 晶子」

◇ ◇ ◇

## 函館の大火の歴史

### 堀内洋子(14回生)

小・中・高と函館在住の折り、自分が住む町についてあまり勉強した記憶が無い私が、大学で史学科に籍を置いて明治維新の前後の日本の歴史・東洋の歴史を学ぶようになり、それを契機に、俄然故郷函館の歴史が気になりだしました。

函館の町の成り立ちはどうなつたのだろうか？特に函館は火事が多い土地ということ思い出しました。昭和9年の大火は市内の三分の一を焼失するという未曾有の惨事で、先日の高女の先輩方の座談会(会報9号に掲載)に参加した際、入学準備の大半を失うという生々しい経験をされた方達がいらつしやつたこと、そんなことが、函館の大

火の歴史を少し調べてみようと思ひ立つたきっかけでした。

特筆される三つの大火について

#### 1. 明治40年8月25日

午後10時20分、函館区東川町217番地石鹼製造所より出火した。出火時は南東の風で風速10mの強風であつたが、次第に強まり、翌26日午前1時頃には16mの暴風となつた。しかも出火場所付近は、家屋が租造のうえ密集していたため四方に延焼し焼失区域を拡大していった。さらにこの時期は、不幸にも水源が枯渇し日々の用水も欠乏していったため、消火栓の効力が少なく、消火活動が進まなかつた。会所町、寿町、恵比寿町、大町、大黒町、鱧間町、鍛冶町、富岡町、旅籠町、天神町、駒止町、末広町、東浜町、船場町の14町の全部、元町、曙町、汐見町、青柳町、春日町、蓬萊町、相生町、弁天町、船見町、台町、山背泊町、小舟町、豊川町、汐止町、地蔵町、西川町、宝町、東川町、仲浜町、仲町の20町の一部が焼失した。

罹災面積40万坪、焼失戸数1万2千390戸、罹災人口3万2千428人、焼死者8名、負傷者1千名を出して、26日午前9時頃ようやく鎮火した。類焼した主な建物は、函館庁舎、英国領事館、露国領事館、連隊区司令部、海軍局、函館郵便局、函館電話局、商船学校、商業高校、函館病院、そして我々が母校である立高等女学校、私立病院8、区立小学校5、市立小学校6、会社38、

銀行8、神社3、寺院6、教会5、新聞社5、劇場4、その他商店、旅館、倉庫等主なる建築物が罹災した。

その損害は3千114万8千377円にのぼり、多数の市民が衣食住の途を失つたので、14ヶ所に炊事場が設置された。9月2日に閉鎖されるまでに救護を受けたものは、8千598戸、4万24名にのぼつた。また避難所は20か所で、9月5日に閉鎖するまで3万2千428名が収容された。この大火に対して、両陛下から、罹災者救済のため、1万3千円の御下賜金を賜つた。その他、各地よりの義援金は7万98円にのぼり、米、味噌、衣類等の寄贈も多数にのぼつた。

#### 2. 大正10年4月14日

午前1時15分、上水道断水中の函館区東川町198番地の菓子製造所の木造家屋から出火した。出火時は真東より風速8mであつたが、深夜のことでもあり、かつ宝小学校の陰に隠れて、発見が遅れたことが、大火になるひとつの要因であつた。

明治40年の大火の経験から北西方・地蔵町方面を警戒することに努め、全力をあげて錦座や宝小学校の防御に尽力した。この2大建物が焼失したならば、警察署、消防本部に延焼し、船場町の倉庫群より東浜方面に拡大するかも知れない状況であつた。消防隊の防御が功を奏し、地蔵町方面への類焼は食い止めら

れたが、他方、蓬萊町、相生町をまたたくまに焼失し、火勢は午前4時頃に十字街を襲い曙町、二十間坂付近に達した。十字街は、函館の中心で、商店街を形成し、最も反映している地域であり、二十間坂は函館区の重要な防火線であり、ここでの鎮火に望みを託していた地点である。しかしこの時、風力はなお11mを示し、消防員は疲弊し、器械は損傷しており、二十間坂の防御は難しく、午前4時30分には会所町の一角より西方向へ延焼は拡大した。末広町、会所町、元町へとその被害範囲を拡げ、函館市庁舎や函館区公会堂そして函館区病院に及ぼうとしていた。しかし、幸いに、基坂の防火線を警戒していたことや、風力が衰えたために午前7時30分を以つて鎮火したのである。

焼失区域は15万2千830坪であり、病院4、学校3、銀行4、劇場5があり、焼失戸数2千141戸、罹災人口1万998人、損害総額1千779万8千549円、死者1名、焼失建物1千309棟にのぼり、市の繁華街を焼き尽くし、明治40年以降の最大の大火となつた。

#### 3. 昭和9年3月21日

午後6時53分、函館市住吉町91番地の二階建て民家より発火した火災は、風速20mにおよぶ東南の烈風に煽られて、瞬時にして他に延焼拡散していった。青柳町より豊川町、鶴岡町、松風町、新川町方面を

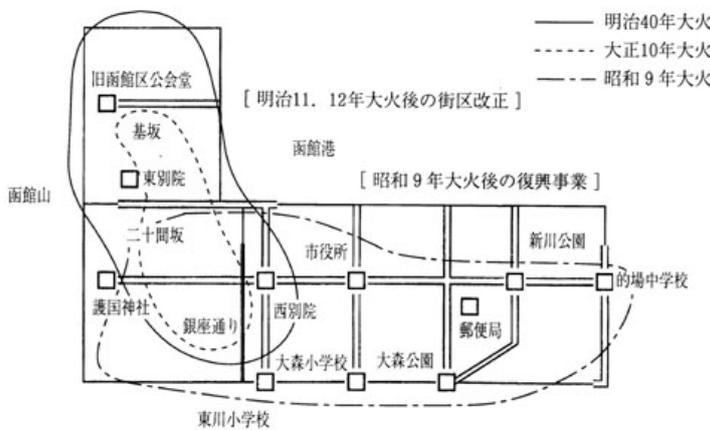
襲い、消防隊や軍隊等の必死の努力も、烈風と倒壊した家屋や電信柱等の障害物に妨げられ、充分なる機能を發揮することが出来なかつたのである。その後、風向きが漸次西方に変化するに伴つて未広町、会所町元町方面は、幸いに二十間坂によつて延焼を遮断することが出来たが、反対に風下にあたる新川町、堀川町の場町の間は全く廃墟に帰し、さらに北方に向かって延焼し、翌 22 日午前 6 時頃に鎮火することができたのである。

焼失区域 416 ha 余り、焼失世帯 2 万 2 千 667 世帯、罹災人口 10 万 2 千 1 人、損害総額 1 億 2 千 391 万 8 千 27 円、死者 2 千 166 人(内訳焼死 748 人、溺死 917 人、凍死 217 人、窒息死 143 人、その他 29 人、収容後死亡者 112 人)、行方不明者 662 名、重軽傷者 1 万 2 千 592 名、焼失建物 1 万 1 千 105 棟。全焼は 20ヶ町以上、半焼は 15ヶ町以上、実に、全市の三分の一を焼失した。

被害が大きかった原因を、当時の建築学会は、①発火より消防署に於いて知覚するまでに約 5 分を要したこと、②風力甚大で火災の伝播速度大且、飛火多く尚風向の回転方向が最悪であったこと、③火元付近は特に地形の關係に依り、延焼中、頻りに風の回転、突風が起こったこと、④発火地点及び海岸付近は特に矮小粗悪木造家屋連担し、且つ全市に亘り同様であったこと、⑤防火地区が極めて少なく、広場、公園等の都

市計画上の施設が完備していなかつたこと、⑥発火地点は水道終点であるため、水圧弱く水量乏しく、その上、風力強きために消防組の活動が思うように進めなかつたこと、⑦道路が概して狭く、消防組の部署変更更に困難をきわめたこと、と説明しており、都市計画との関連性を想起させている。

諸外国より多数の見舞いがあり、全国からの義援金及び数々の救済品の寄贈は膨大な数に達した。一度に 100 戸以上焼失した函館の大火は、江戸時代の安永 8 年



3 大火の焼失地域(函館市史デジタル版より転記)

(1779年)以来、昭和 29 年(1954年)まで 30 回記録されていますが、明治 2 年(1869年)から大正 10 年(1921年)の 53 年間に限れば、25 回もの大火があり、まさに 2 年に一度という頻度であります。

函館に消防が組織されたのが、明治 40 年頃で、その当時の焼失率は 1 千戸に対して 90 戸という高い割合を示していました。そして大正 10 年に 2 千戸以上を焼失する大火をきっかけに、函館市は復興計画と同時に、防火対策にも力を入れ、消防団員の増員、消防機械力の増強、水利の拡充・整備、火災報知機を市内のいたるところに設置するなどによって、焼失率を 3 戸に減らす事に成功したにもかかわらず、昭和 9 年に未曾有の大火が発生してしまいました。昭和 9 年の大火後の防火線の設置は地区内の建築主に思い負担を課すものであり、また、防火建築には地上権の設定を要する等々、地域内の地主の自覚に頼るものであったりして、地域課題は解消されずにいたのであります。

しかしながら、現在では全国的に防火対策や体制の整備が整って、昭和 29 年以降、函館では大火災と呼ばれるものはなくなりましたが、他方で、近郊地域では木古内大火(昭和 32 年、焼失 203 戸)、森町大火(昭和 36 年、590 戸)、奥尻大火(昭和 38 年、149 戸)などが起きています。

近頃、火事のニュースを目にする

時に、火災で亡くなる方が多いのに驚きます。今年の寒さは、寒さには強い私でもあまり体験したことがないほど過酷なものでした。そのせいか、特にお年寄りが亡くなるケースを目にします。歴史に学び、少しでも不幸な火災に巻き込まれないよう、考える一助になれば・・・と思いいこの原稿を寄稿いたしました。(※数字については、2 次 3 次資料に基づいていますので、若干不確かであることをお断りしておきます)

※年表の見方  
次ページからの年表は、函館の歴史略年表を見開きの右側ページに、大火に関する細かい記述を左側に記したものです。対照してご覧下さい。

個人の尊厳を大切に、その人らしさをいつまでも…

八王子	特別養護老人ホーム	偕楽園ホーム
岐阜	特別養護老人ホーム	瀬戸の里
函館	特別養護老人ホーム	戸井湖寿荘
岐阜	特別養護老人ホーム	みずなみ瀬戸の里
岐阜	特別養護老人ホーム	ニツ森ホーム

2008年、岐阜の「瀬戸の里」が優良民間福祉施設として天皇陛下より表彰されました。

医療法人社団新谷会 **新谷 医院** 東京都府中市朝日町 2-30 TEL.042-361-9419  
医学博士 新谷義克 (西高 1 回生)

## 《 函館の歴史略年表 》

西暦	年号	出来事
1454	享徳3年	河野政通、ウスケシ・宇須岸に館を築く
1457	長祿元年	東部アイヌ首長コシャマイン箱館周辺を制圧
1458	長祿2年	武田信広、これを七重浜で討つ
1613	慶長18年	松前藩、亀田番所を設け、白鳥孫三郎に監督させる
1703	元禄16年	亀田川の大洪水により、港が使用不可となり、船舶は箱館に停泊するようになり、住民も多く移住する
1741	寛保元年	松前藩、亀田番所を箱館に移す
1779	安永8年	※索引NO. 1
1793	寛政5年	ロシア使節ラックスマン、エカテリナ号で箱館に入港
1796	寛政8年	高田屋嘉兵衛、辰悦丸で来航
1799	寛政11年	幕府、東蝦夷地を直轄とし、箱館に沖の口番所を開設。高田屋嘉兵衛、エトロフ航路開設。翌年漁場を開く
1802	享和2年	2月幕府、蝦夷地奉行を新設。5月に箱館奉行と改称
1807	文化2年	箱館奉行、大町にかなえの泉を掘り、官民に給水。幕府、全蝦夷地を直轄とし、箱館奉行を廃し、松前奉行を置く
1808	文化3年	※索引NO. 2
1811	文化8年	クナシリで捕えられたロシアのディアナ号艦長ゴローニン箱館着
1813	文化10年	高田屋嘉兵衛の斡旋により、ゴローニン釈放。日露国交円満解決
1822	文政5年	高田屋嘉兵衛、箱館を本店とし、大坂・兵庫に支店を置く
1833	天保4年	高田屋金兵衛、露船との旗合わせの罪により、所有船没収
1854	嘉永7年 安政元年	アメリカ提督、ペリーと日米和親条約締結。米艦船5隻箱館港調査の為、入港
1855	安政2年	箱館港を開港。(食料・水補給)
1857	安政4年	五稜郭(亀田役所土塁)の築造に着手。谷地頭に鑄銭場を設ける。続豊治製作の西洋型船函館丸進水。
1858	安政5年	幕府、米・蘭・露・英・仏と修好通商条約に調印。谷地頭に製陶場を設ける。
1859	安政6年	箱館開港。6月2日＝陽暦7月1日。最初の入港船米のモーレー号。
1860	万延元年	箱館医学所を設立。(翌年、病院竣工)
1864	元治元年	五稜郭竣工(武田斐三郎設計)。新島襄、海外脱出(上海経由米へ)。
1868	慶応4年 明治元年	箱館裁判所(行政府)設置。 榎本武揚ら、旧幕府の艦船8隻を率い、品川沖から脱走。10月森村鷲ノ木に上陸、五稜郭を占拠。
1869	明治2年	政府軍の箱館総攻撃により、五稜郭開城。全員降伏。※索引NO. 3
"	"	蝦夷を北海道と改称。開拓使出張所を箱館に置く。「箱館」を「函館」に改めたという。
1871	明治4年	五稜郭庁舎を解体。※索引NO. 4
1872	明治5年	「函館気候測量所」(我が国初の気象観測所・函館海洋気象台の前身)設立。
1873	明治6年	太陽暦を採用。明治5年12月3日を同6年1月1日とする。札幌―函館間繋ぐ札幌本道が完成。 ※索引NO. 5
1875	明治8年	※索引NO. 6
1878	明治11年	※索引NO. 7
1879	明治12年	郡区町村編制法の実施に伴い、郡区役所を設置。常野正義函館区長となる。 ※索引NO. 8
1881	明治14年	第1回函館区会開催。
1882	明治15年	開拓使廃止。函館県・札幌県・根室県を設置。函館県庁を開庁。
1885	明治18年	※索引NO. 9
1886	明治19年	三県制を廃止し、北海道庁開庁。
1887	明治20年	※索引NO. 10
1888	明治21年	函館上水道工事始まる。明治22年竣工。
1889	明治22年	函館上水道給水を開始。横浜市に続いて2番目。
1895	明治28年	※索引NO. 11
"	"	※索引NO. 12
1896	明治29年	※索引NO. 13
1897	明治30年	函館馬車鉄道営業開始。湯川線開通明治31年。
1899	明治32年	北海道区制(自治制)実施により、函館・札幌・小樽が区となる。函館山要塞竣工。 ※索引NO. 14
1900	明治33年	※索引NO. 15
1901	明治34年	※索引NO. 16
1902	明治35年	※索引NO. 17
"	"	※索引NO. 18

## 《 函館の大火歴史年表 》

索引	西暦	年号	月/日	時刻	焼失戸数	出火場所	俗称/棟/町	備 考
1	1779	安永 8 年	10 月 8 日	午後 12 時	105 戸	弁天町	地金火事	午後 12 時、古地金買い、治郎助宅より出火。
2	1808	文化 3 年	10 月 5 日	午前 1 時	350 戸	弁天町	青山火事	河岸市店、青山方から出火。 函館奉行羽太正養が井戸堀、井戸屋吉兵衛他 14 名を消防常備とした。  ☆文化 3 年から明治 2 年までの 50 余年間は、火災記録なし。但し、在住者の日記等から天保 15 年 1 月 21 日;450 戸、慶応 2 年 9 月 12 日;内澗町から出火、地蔵町上通り、大工町通り一円と谷地半分余りを焼失した大火があった模様である。
3	1869	明治 2 年	5 月 11 日	午前 11 時	872 戸	弁天台場	脱走火事	戊辰戦争最後の戦いの日で、徳川勢の脱走徒が弁天台場見晴付近の材木置き場に放火。
4	1871	明治 4 年	9 月 12 日	午前 1 時	1,123 戸	山の上町	切店火事	切店の羽目板の節穴に煙草の吸殻を落したことで出火。 ☆山の上遊郭が蓬萊町に移転することになる。
5	1873	明治 6 年	3 月 22 日	午前零時	1,314 戸	豊川町	屋根屋火事	屋根屋新四郎方から出火。焼死者 5 名。
6	1875	明治 8 年	4 月 18 日	夜半	434 戸	蓬萊町	224 棟	☆翌年明治 9 年、英製の手引き蒸気ポンプを配備する。
7	1878	明治 11 年	11 月 16 日	午前 2 時 15 分	954 戸	鮫澗町	13 ヶ町	☆鮫澗町は現入舟町のこと。
8	1879	明治 12 年	12 月 6 日	午後 8 時半	2,326 戸	堀江町	33 ヶ町	☆堀江町は現末広町のこと、市内の重要部分を焼失した。
9	1885	明治 18 年	5 月 13 日	午前 4 時	132 戸	恵比寿町	2 ヶ町	☆恵比寿町は現末広町のこと。 官立と私立の消防組が合併。公設の消防組となる。
10	1887	明治 20 年	5 月 2 日	午後 1 時 40 分	482 戸	西川町	2 ヶ町	馬車会社の物置より出火。西川町 383 戸、地蔵町 99 戸焼失。 ☆明治 22 年、水道管敷設。地下式の消火栓が設置される。
11	1895	明治 28 年	11 月 3 日	午前 3 時 15 分	228 戸	鶴岡町		☆鶴岡町は現大手町のこと。
12	"	"	11 月 28 日	午前 2 時 15 分	117 戸	西川町		☆西川町は現大手町のこと。
13	1896	明治 29 年	8 月 26 日	零時 30 分	2,280 戸	弁天町	テコ婆火事	風速 7, 8 メートルの東風にあおられ、8 ヶ町に燃え広がった。 両陛下より御救済金 2,200 円を賜る。
14	1899	明治 32 年	9 月 15 日	午前 9 時 40 分	2,494 戸	豊川町		4 ヶ町に延焼。両陛下より御救済金 2,800 円を賜る。
15	1900	明治 33 年	11 月 3 日		142 戸	東川町		
16	1901	明治 34 年	4 月 12 日		199 戸	若松町		
17	1902	明治 35 年	5 月 4 日		108 戸	東川町		
18	"	"	6 月 10 日		396 戸	鶴岡町		☆この年、函館湾内の停泊船舶火災に備え、水上部発足。

## 《 函館の歴史略年表 》

西暦	年号	出来事
1907	明治40年	※索引NO. 19
1911	明治44年	※索引NO. 20
1912	明治45年	※索引NO. 21
1913	大正2年	馬車鉄道の軌道に路面電車を走らせる。※索引NO. 22
"	"	※索引NO. 23
1914	大正3年	※索引NO. 24
"	"	※索引NO. 25
1915	大正4年	12月、西川町に全市を見渡せる望楼を設置。
1916	大正5年	※索引NO. 26
1919	大正8年	英製大型ポンプ車1台配備。
1921	大正10年	※索引NO. 27
1922	大正11年	市制施行。第1回函館市議会開催。
1926	大正15年	函館で最初のメーデー実施。
	昭和元年	函館～東京間電話開通。
1927	昭和2年	市民館開館。函館市じんかい処理場(焼却処理)設置。
1928	昭和3年	函館最初の鉄筋校舎新川小学校完成。市立函館図書館開館。日ソ漁業条約調印。
1929	昭和4年	函館港修築工事着工。駒ヶ岳大噴火、降灰火砕流の流失があった。死者2名。
1932	昭和7年	2月6日 函館山にNHK函館放送局開局。
1933	昭和8年	函館最初の不燃質・旧昭和橋完成。
1934	昭和9年	函館大火。市役所、市民館に移る。※索引NO. 28
1935	昭和10年	開港記念日を7月1日とし(開港77年)、第1回港まつりを挙。左巴を市章に制定。
1939	昭和14年	4月湯川町、函館市と合併。函館太平洋倶楽部の久慈捕手が事故死。
1942	昭和17年	国鉄函館駅新築落成。(平成15年解体)。
1943	昭和18年	電車・バスが市営となる。
1945	昭和20年	米軍函館市を空襲。被害甚大。終戦。市役所東雲町の新築庁舎に移転。※索引NO. 29
1946	昭和21年	函館山、一般に解放。最初の公選市長選挙施行。
1947	昭和22年	日本国憲法・地方自治法施行。
1948	昭和23年	自治体消防発足。
1949	昭和24年	第1回函館成人祭挙。行。
1950	昭和25年	函館市文化賞制定。市営競輪開始。
1951	昭和26年	市内小学校完全給食実施。市電宮前町～五稜郭公園前間開通。市営千代ヶ岱野球場完成。
1952	昭和27年	戦後初の北洋鮭鱒漁再開。
1953	昭和28年	市営谷地頭温泉営業開始。
1954	昭和29年	台風15号で、洞爺丸ほか4隻の青函連絡船沈没。北洋漁業再会記念北海道大博覧会開催。※索引NO. 30
1956	昭和31年	函館山登山バス定期運航開始。
1957	昭和32年	NHK函館放送局完成。テレビ放映開始。函館市名誉市民賞制定。
1958	昭和33年	函館開港100年記念式典挙。行。函館山ロープウェイ営業開始。
1960	昭和35年	チリ地震津波で市内浸水
1961	昭和36年	定期航空路函館～札幌間営業開始。
1963	昭和38年	青函トンネル着工。
1964	昭和39年	函館～大間間にカーフェリー就航。
1966	昭和41年	市立函館博物館完成。港まつりを8月開催に変更。銭亀沢村、函館市と合併。
1968	昭和43年	十勝沖地震。函館市旗制定。亀田市、函館市と合併。
1971	昭和46年	ばんだい号横津岳に墜落。死者62名。青函トンネル本工事起工式。中距離ジェット機就航。
1973	昭和48年	亀田市、函館市と合併。
1974	昭和49年	函館市南部下水終末処理場運転開始。
1975	昭和50年	市民体育館開館。中央卸売市場開場。
1976	昭和51年	ミグ25戦闘機が函館空港に強行着陸。パイロット1名がアメリカに亡命する。
1978	昭和53年	宮城県沖地。
1983	昭和58年	日本海中部地震。
1988	昭和63年	60年の青函トンネル開通に伴い、青函連絡船廃止。

## 《 函館の大火歴史年表 》

索引	西暦	年号	月/日	時刻	焼失戸数	出火場所	俗称/棟/町	備 考
19	1907	明治 40 年	8 月 25 日	午後 10 時 20 分	12,390 戸	東川町	33ヶ町	被災面積 40 万坪。死者 10 名。負傷者 1,000 名。※別紙参照
20	1911	明治 44 年	3 月 23 日	午前 2 時 20 分	140 戸	海岸町		上水道停止中に洋燈の転落により発火。損害額は 30,000 円。
21	1912	明治 45 年	4 月 12 日	午後 2 時 20 分	733 戸	音羽町	320 棟	損害額は 225,840 円
22	1913	大正 2 年	5 月 4 日	午後 1 時 50 分	1,532 戸	若松町	572 棟	☆火災時の消火水量を考慮して、非常用の水道を設置。
23	"	"	5 月 25 日	午後 11 時 10 分	277 戸	東雲町	94 棟	上水道停止中に発火。損害額は 40,226 円。
24	1914	大正 3 年	4 月 8 日	午後 11 時	849 戸	蓬萊町		上水道停止中に炉火により発火。損害額は 289,021 円。
25	"	"	12 月 1 日	午前零時 15 分	673 戸	鱧間町	420 棟	上水道停止中にこたつにより発火。損害額は 281,567 円。
26	1916	大正 5 年	8 月 2 日	午後 3 時 50 分	1,763 戸	旭町	942 棟	白玉製造所の乾燥室から発火。損害額は 700,000 円
27	1921	大正 10 年	4 月 14 日	午前 1 時 15 分	2,141 戸	東川町	1,309 棟	※別紙参照 ☆この年、ポンプ車 2 台、水管自動車 3 台配備。 ☆費用は全て市民の寄付で賄われた。
28	1934	昭和 9 年	3 月 21 日		24,186 戸	住吉町	函館大火	※別紙参照
29	1945	昭和 20 年	7 月 14 日	午後 3 時 5 分	384 戸	駒場町	函館空襲	合計 24 か所に爆弾 321 発、ロケット弾 13 発が投下される。 焼失棟:169 棟。死者:79 名、負傷者:28 名。 損害額 1,53,1000 円。青函連絡船が爆撃で壊滅。
☆	1949	昭和 24 年	6 月 5 日				松前城火災	☆役場からの飛火で、国宝天守閣・本丸御門東塀を焼失。
☆	1949	昭和 24 年	7 月 1 日				木古内大火	罹災者:1,200 人、焼失戸数:216 戸
30	1954	昭和 29 年	5 月 11 日	午前 1 時 5 分	1,439 坪	湯川町	台風 15 号	発見・通報の遅れ、異常乾燥中の為、拡大。36 棟焼失。 ☆死者・行方不明合わせて 1,430 名という大惨事となる。
☆	1957	昭和 32 年	4 月 8 日		203 戸		木古内大火	罹災者:1,077 人、焼失戸数:167 戸
☆	1961	昭和 36 年	10 月 23 日		590 戸		森町大火	
☆	1963	昭和 38 年	5 月 27 日		149 戸		奥尻大火	
☆	1968	昭和 43 年	5 月 16 日		3,677 戸		十勝沖地震	死者・行方不明 52 人
☆	1978	昭和 53 年	6 月 12 日				宮城県沖地震	
☆	1983	昭和 58 年	5 月 26 日	3,049 棟			日本海中部地震	死者 104 名の内津波の犠牲者 100 人

※この数字については、全て 2 次・3 次資料に基づいておりますので、若干不確かであることをお断りしておきます。

平成24年度つゝじヶ丘同窓会東京支部 会計報告

自平成24年1月1日  
至平成24年12月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰入金	2,931,786		
年会費(振込)542件	1,024,320	同期会補助金10件	50,000
年会費(現金)57件	114,000	交流費	100,000
本部補助金	30,000	旅費交通費	120,000
広告収入	20,000	会議費	47,226
		通信費	93,190
		会報印刷費2回分	148,470
		会報送付費	209,000
		印刷費	50,400
預金利息	585	事務費	9,220
		雑費	1,196
		HP関連費	151,200
収入計	1,188,905	支出計	979,902
		次期繰越金	3,140,789
合計	4,120,691	合計	4,120,691

◆事務局活動報告

学年幹事会開催

事務局長 高橋順吉(17回生)

平成24年は総会のない年でしたが、事務局の活動は活発で、2月の学年幹事会で、会則の改正を行い、名実ともに学年幹事会を同窓会の最高決議機関としました。

その後昨年中に6回の事務局会議を行い、同期会補助の具体化、年2回の会報発行などを行ないました。今年に入っても第15回記念総会に向けて4回の事務局会議を開催しております。

このほか、本部、札幌、札幌、大阪の支

部総会に事務局員を派遣、中部、東、函商、函工、ラサールの東京同窓会へ来賓として出席しました。

今年2月23日の学年幹事会では、会長、副会長の交替人事、記念総会の実施概要と今年度の実行計画、昨年度の決算報告が承認されました。会計報告は左表のとおり、総会終

結後の支部役員は以下の通りです。  
名譽会長 新谷義克(1)、顧問 小西弥生(高女38)、成田慶子(女高2)、郷内繁(4)、小嶋俊昭(10)、若林英毅(11)、会長 佐々木太郎(14)、副会長 堀内洋子(14)、高橋順吉(17)、学年幹事長 竹澤秀明(17)、学年副幹事長 佐藤雅英(18)、会計監査 森加代子(13)、事務局長 齊藤勝美(13)、会計 西山和子(23)、小林多美(24)

物故会員

今年3月末までに事務局へご連絡を頂いた物故された会員です。  
ご冥福をお祈りいたします。

中川巴様(高女30)、宮本照子様(高女30)、高田千代子様(高女31)、新田恒様

会員の皆様にお願ひ

母校への恩返し、ご支援に  
同窓会年会費(2千円)納入を

上の会計報告にもあるとおり、同窓会は総会・懇親会の会費と年会費で運営されています。同窓会活動を今後とも続けていくために、会員の皆様のご支援を宜しくお願ひ申し上げます。

☆☆☆☆

西高ゴルフ大会のお誘ひ



昨年、第1回の西高ゴルフ大会を千葉県の「セントレジャー市原」にて開催しました。3組と少しさびし

いコンペでしたが、今年も9月末ごろ開催を計画しております。先輩、同僚、後輩の参加連絡をお待ちしています。奮ってご参加下さい。

西高ゴルフ会世話人  
三村寿雄(13) 090・8513・4497  
竹澤秀明(17) 090・6797・7092

\* \* \*

編集後記

○第10号は第15回記念総会に合わせ発行されますので、総会のプログラムや出席者名簿もその中に入れ、冊子版としました。通常は8ページですが、今回は32ページです。  
○総会欠席者からのメッセージも会報に載せてみました。総会出席者以外の方の消息も分かるのではないかと思います。

○今号は投稿を多く頂きました。高女のお姉さまたちの活躍ぶり、50歳でパパになった会員の奮闘記、函館に関する研究記録など読み応えのある寄稿が沢山集まりました。じっくりと目を通してください。

○会報及びホームページ「会員だより」に、会員の皆様のご投稿をお待ちしております。送付先は、jimud@tokyo.com(事務局メールアドレス)へ。なお、会報第11号の発行は今年11月中旬を予定しております。

佐々木太郎 記(14回生)